# 来名町勢要覽

# 凡例

一、本要覽ハ桑名町ニ於ケル風土、産業ノ概要ト統計上ノ事實ヲ併セ收錄ス

一、本要覽ノ材料ハ地誌、歴史等ノ成書並ニ官公署學校會社等ヨリノ諸報告ニ依リタルモノトス

一、本要覽統計ハ昭和九年中ノ事實ヲ掲上スル旨明セルナル裏ニアリテハ既往ノ變遷消長ヲ示サム爲メ數年間ノ計數ヲ掲記シ以テ比較ニ便ス

一、本要覽中何年トアルハ歴年ニ於テ會計年度ヨリ而シテ現在ヲ見ルヘキモノニ就テハ特ニ調査期日ヲ記入セリ

桑名市 11394 48.12.1 図書

## 目次


第一章　總說……一
(一) 町長、助役、收入役一覽表……一
(二) 位置及廣袤……六
(三) 地勢……七
(四) 氣象……七
(五) 沿革……八
(六) 神社……一〇
(七) 佛閣……一九
(八) 名所舊跡……二一
(九) 本町所管區域……二〇
(十) 物産……二一
(十一) 土地……二六
1 土地大別……二六
2 民有有租地……二六
3 田畑所有者別……二九
4 本町民(本町內)土地所有及別人員表……四〇
(十二) 戶口……四〇
1 本籍並現住人口及戶數……四〇
2 本籍人口動態……四一
3 現住職業別戶口……四二
4 死亡者年齡別……四四
5 死亡者職業別……四五

6 死亡及死產數月別……四
7 現住人年齡別……四
8 出生數月別……四
9 私生子及庶子出生數月別……四
10 婚姻離婚數月別……四
(十三) 議員町吏員及委員……四
1 議員……四
2 吏員……四
3 委員……四
(十四) 役場文書取扱件數……四
1 文書收受並二發送件數……四
2 諸証明、公簿書類閲覽件數……五
(十五) 警備……五
1 警察……五
2 犯罪……五
3 火災……五
4 消防……五
(十六) 官公署學校其他……五
第二章 財政……五
(一) 町費歲入調……五
(二) 町費歲出調……五
(三) 昭和十年度桑名町歲入歲出豫算……五
(四) 稅金負擔額調……六
(五) 町稅徵收高並最高最低及平均額……六
(六) 國稅種別……六
(七) 縣稅種別……六



第三章 町有財產……六
(一) 土地……六
(二) 建物……六
(三) 基本財產……六
第四章 交通……六
(一) 道路……六
(二) 橋梁……六
(三) 船車……六
(四) 鐵道……七
(五) 郵便電話……七
第五章 產業……七
(一) 農業……七
1 農業經營狀態……七
2 米……七
3 麥……七
4 園藝農產物果實……七
5 蔬菜花卉及食用農產物……七
6 綠肥用作物……七
7 養蠶……七
8 家禽……七
9 畜……七
10 牛乳……七
11 農產額表……七
(二) 商工業……七
1 主要製產物……七
2 工場……八

3 會社……八五
4 金融……八九
5 產業組合……八九
6 商業組合……九一
7 營業者表……九二
8 市場……九二
9 電燈瓦斯……九三
10 電動機用途別……九三
(三) 水產……九五
1 水產物……九五
第六章 學事……九七
(一) 小學校……九七
(二) 小學校兒童及卒業生……九八
(三) 小學校教員數……九九
(四) 幼稚園……九九
(五) 各種學校……九九
(六) 青年訓練所……一〇〇
(七) 教育費……一〇〇
第七章 兵事……一〇一
(一) 徵集人員……一〇一
(二) 徵兵檢査成績……一〇二
(三) 陸海軍人現員表……一〇二
第八章 社寺及教會……一〇三
(一) 神社……一〇三
(二) 寺院……一〇五
(三) 教會……一〇五



(四) 基督教……一〇五
第九章 衛生……一〇六
(一) 傳染病患者……一〇六
(二) 死亡者病類別……一〇六
(三) 汚物掃除……一〇七
(四) 醫療機關及製藥資藥……一〇七
(五) 埋火葬……一〇七
(六) 種痘……一〇八
(七) トラホーム檢診……一〇八
(八) 水道……一〇九
第十章 社會……一一〇
(一) 保育育兒……一一一
(二) 恤救……一一一
(三) 無料治療券交付數……一一一
(四) 方面委員……一一三
(五) 職業紹介取扱狀況……一一三
(六) 簡易診療所……一一六
第十一章 其他……一一八
(一) 篤志……一一八
(二) 各種團体……一一八
(三) 新聞雜誌……一一八
(四) 劇場……一一九
(五) 里程表……一二〇

桑名町役場廳舍

赤須賀漁港

# 第一章　總　說

## 一、町長・助役・收入役一覽表

### 町長之部

（名譽）町田武須計　明治二十二年五月十四日就職　明治二十八年七月十九日退職

（有給）伊藤主一　明治二十八年十二月十二日就職　明治三十四年四月二日退職

（有給）松岡利弼　明治三十四年六月二十六日就職　明治三十九年六月四日退職

（名譽）竹内文平　明治三十九年六月二十七日就職　明治四十二年二月六日退職

（名譽）森　茂生
明治四十二年五月二十四日就職　明治四十三年十月七日退職

（有給）飯田　一畝
明治四十四年一月二十一日就職　大正五年九月二十五日退職
大正五年十月三十日就職　大正九年二月十日退職

（臨時代理）木戸　勝治
大正九年二月十日任命　大正九年五月四日解任

（名譽）福原　錢太郎
大正九年五月四日就職　大正十二年九月七日退職
大正十二年十月十九日就職　昭和二年九月二十一日退職
昭和二年十二月十一日就職　昭和四年十一月二十七日退職

（名譽）汾陽　光二
昭和五年八月十五日就職　昭和七年二月二十九日退職
昭和七年三月二十八日就職　昭和八年五月二十七日退職

（職務管掌）桃井　直美
昭和八年五月二十七日就職　昭和八年八月八日退職

（名譽）小出　釟三
昭和八年八月八日就職　昭和九年三月二日退職

（職務管掌）山舖　義雄
昭和九年三月二日就職　昭和九年五月十七日退職

（名譽）貝塚　榮之助
昭和九年五月十七日就職在職中

## 助役之部

（名譽）若月　閑晋
明治二十二年五月十四日就職　明治三十二年三月三十一日退職

岩尾　惇忠
（有給）明治二十二年六月十四日就職　明治三十二年三月三十一日退職

（名譽）明治三十二年四月十二日就職　明治三十五年三月二十五日退職
（名譽）大正六年一月二十五日就職　大正九年一月二十六日退職
宮本光平
（有給）明治三十二年四月十二日就職　明治三十六年四月十一日退職
（名譽）明治三十六年四月二十二日就職　明治三十九年十二月九日退職
（有給）松谷博夫
明治三十六年五月十五日就職　明治三十七年三月三十日退職
（有給）鈴田猪三郎
明治三十九年一月十二日就職　明治四十一年十月三日退職
（有給）松岡雅介
明治四十一年十月三日就職　明治四十四年十月三日退職
（有給）久我清民
大正二年六月十三日就職　大正九年二月十七日退職
（名譽）小河内彌兵衛



大正九年六月二十三日就職　大正十三年六月二十三日再任
昭和三年六月二十三日再任　昭和四年二月末日退職
（有給）水野鹿郎
大正十年一月十日就職　大正十一年九月四日退職
（有給）清水亮
大正十一年十月十八日就職　大正十四年三月七日退職
（有給）塚本作太郎
昭和三年十月十六日就職　昭和七年四月三十日退職
（名譽）貝塚榮之助
昭和五年十月十二日就職　昭和七年二月二十九日退職
昭和七年四月一日就職　昭和八年五月二十七日退職
（有給）奥山米次郎
昭和九年六月二十一日就職在職中

## 收入役之部

小川鉀藏　明治三十八年五月退職
明治二十二年五月就職

高久直義　大正七年五月十七日退職
明治三十八年五月三日就職

松田鐵太郎
大正七年五月十八日就職　大正十一年五月十八日再任　大正十五年五月十八日再任
昭和五年五月十八日再任　昭和九年五月十八日再任在職中

## 二、位置及廣袤

縣ニ於ケル位置　二重縣ノ北部桑名郡ノ東南部

境界　北　西桑名町　西　在良村　西桑名町　西南　桑部村　南　城南村ニ接シ東北一帶揖斐川ニ臨ム

經緯度　東經百三十六度四十二分　北緯三十五度二分

廣袤　東西　三、六〇〇メートル
南北　三、〇〇〇メートル

周圍　一四、五〇〇メートル

面積　五、三九七平方粁

## 三、地勢

西北境ニ當リ西桑名町ニ擴カレル丘陵ノ一端露ハルヽノミニテ東南ニ漸下シ揖斐川ニ盡ク地勢概ネ平坦ナリ揖斐川ハ蕩々トシテ南流シ町ノ東岸ヲ洗フ

## 四、氣象

西北ハ丘陵鬱トシテ連亘シ東南伊勢灣ノ碧水ヲ擁スルヲ以テ外洋潮流ノ影響ヲ受ケ一般ニ溫暖ナリ沉樂尙華氏四十度ヲ上下シ烈暑ト雖モ九十度ヲ踰ユルコト旬日ニ過ギス

風雨、冬季ハ西北風多ク夏季ハ東南風多シ暴風雨ノ襲來スルコト稀ナリ雨量ハ一年ヲ通シテ適當ニシテ一年大約百二十日内外氣候ニ大變化ヲ及ボスコト少シ

霜雪、霜ハ十月下旬ニ始リ翌年三月中旬ニ終ル雪ハ三四回乃至十數回アリト雖モ積ムコト五六寸ニ過ギス

## 五、沿革

和名抄ニ桑名郡桑名郷訓久波奈トアリ桑名首ノ故里ニシテ天津彦根ノ命ノ男天久比乃命ノ后裔ナリ後郡家ヲ殷ケ郡司ヲ置キ此地ヲ管ス

天武天皇元年六月東國巡幸ノ途次桑名郡家ニ宿シ給フコト日本記ニ見エ聖武天皇十一年十月壬辛幸伊勢國至桑名郡石占頓宮トアリ蓋シ石占ハ當時一地方ナルベシ

古桑名ノ地揖斐長良町屋川等ノ流域ニ屬シ洲渚三分セリ故ニ三ツノ洲ト云ヘリ今ノ三崎通以北ヲ白凝州崎ト唱ヒ三崎通以南吉津屋町以北ヲ加良州崎ト呼ビ新町以南ヲ泡州崎ト稱ス

史籍ノ徵スベキモノ以上ニシテ上古ノ事蹟千歳ノ今日知ルベカラズト雖モ大字江場ノ北端ヨリ新屋敷ニ亘ル一帶ハ蠣殼ノ堆積ニシテ地層貝殼ヨリ成リ往々ニシテ古代土器ノ破片ヲ掘リ出スヲ見又天武持統天皇行宮ノ遺蹟モ大字江場字神戸並ニ神戸岡ノ地方ナリトイヘバ當時ハソノ地勢現今ト異リテ町屋川ハ今ノ四疇ヨリ矢田疇ノ方面ニ流レ且海岸汨湖ノ地ニ近カリシトハイヘ鍋屋町ヨリ蠣殼近傍以南ハ古クヨリノ陸地ニシテ人民ノ居住セシハ太古ヨリノ事ナルベシ保元平治ノ頃源三位頼政ノ領トナリ文治中伊勢平氏ノ黨桑名三郎右衛門行政奉命ヲ受ケ此ノ地ヲ管ス吉野朝廷ノ頃ニ至リ矢田次郎左衛門今ノ矢田字城山ニ矢田城ヲ築キテ賊軍ノ將高師秋ニ屬セシガ延元三年九月伊勢國司北畠顯能ニ攻落サレ以來當所ハ概ネ北畠氏ニ屬シ南朝ニ從ヒタリキ

足利氏ノ末元龜天正群雄割據時代ヨリ桑名三ヶ村又ハ三ケ城ノ名アリ北畠四十八士ナルモノ近郊所々ニ非待シタリ天正年間矢田城主矢田後元江場城主佐藤秀道等織田信長ノ爲ニ亡サレ元龜二年其將滝川一益信長ノ命ニヨリ此ノ地ニ三ヶ城ヲ築キ長島一向宗徒ノ防備ヲナサシム東ニ伊藤武左衛門北ニ矢部右馬允南ニ樋口内藏介相鼎立シテ其領ヲ統ブ慶長五年關ヶ原役后德川家康天下ヲ統一スルニ當リ其寵臣本多忠勝ヲシテ之ヲ鎮セシム仝八年大ニ城塁ヲ修ム于忠政播州姫路ニ移ル松平隱岐守定勝之レニ代ル時ニ元和三年ナリ仝七年吉ノ丸廓ヲ構ヘ又搦手約九百間ヲ水中ニ築ク川口港ヨリ南ニ連ル揖斐川岸ノ石塁即チ是ナリ寛永十二年松平隱岐守伊豫松山ニ移ルヤ定綱公來リテ其ノ后ヲ襲ヒ封邑十一萬石ヲ食ミ桑名城郭ヲ完成ス定良公ヲ經テ定重公ニ至リ越後高田ニ移ル時ハ寶永七年ナリ文政六年越中守定永公ニ至リ松平下總守ニ代リ奥州白河ヨリ當封ニ復シ子孫相繼承シテ明治維新ニ至レリ

回顧スレバ我桑名ノ地タル東海道ノ要衝ニ當リ間遠七里ノ渡場ヲ扼スルヲ以テ封建時代ニ於ケル對外ノ勢力ハ甚ダ偉大ニシテ來往ノ旅客關西諸候ノ參勤皆此地ニ由ザルハナク尾參勢濃及遠近ノ百貨ハ茲ニ呑吐セラレ從テ五十三驛樞要ノ關門トシテ近國ニ冠タリシナリ然ルニ時勢ノ進運ニ剏セラレ鐵路ノ開通三大川ノ改修等悉ク我ニ利ナク商機空シク逸轉シテ又昔日ノ觀ナキヲ患ヒタルモ大正十二年四月亦須賀村ヲ併合シ昭和八年三月更ニ益生村ノ合併ヲ見往時ノ盛運ヲ挽回スル將ニ近キニ在ラムトス參宮國道モ桑名附近ハ既ニ完成シ長年ノ懸案タリシ三大川ノ架橋モ龍ニ尾張大橋開通シ昭和九年五月二十六日伊勢大橋ノ開通ヲ見全時ニ產業道路モ完成シテ岐阜市ヘノ捷路モ開ケ茲ニ交通產業ノ一新紀元ヲ劃スルニ至レリ

# 六、神　社

## 1、縣社鎭國守國神社

市街ノ東北端舊城址御本丸ニ鎭坐ノ縣社ヲ鎭國守國神社トス藩祖松平定綱公ヲ奉祀ス桑名少將定勝公ノ第三子ナリ大阪陣ニ軒功アリ後累リニ封ヲ移シ祿ヲ重ネ寛永十二年伊勢國桑名城ニ移リ十一萬石ヲ享ケラル公藩勳ノ元老ヲ以テ海道ノ要津ヲ守リ文武ヲ修講シ屹然トシテ國家ノ藩屏ニ任ジ名望ノ歸向スル所海道一ノ名將ト稱セラル公心ヲ深ク民治ニ致シ先考定勝公ノ遺志ヲ繼ギ水道ヲ改修シテ設備ヲ完成シ飲料水ノ改良ヲ期セラレシガ如キ後世長ク其德ニ浴シ其澤ヲ蒙ル慶安四年十二月廿五日薨ズ御年六十桑名城西四桑名町大字東方照源寺ニ葬ル寛政九年白河城主松平定信公城內ニ鎭國大明神ト崇祀シ後桑名本城ニ遷坐ス明治十三年十月五日縣社ニ列セラレ大正六年贈從三位ノ宣下アリ

守國神社ハ桑名藩九世ノ城主松平定信公ヲ奉祀ス田安中納言宗武卿ノ第七子ナリ天明三年白川城主松平定邦公ノ封ヲ襲ギ越中守ニ任ゼラル世ニ所謂白河樂翁公ナリ公襲封以來深ク心ヲ國政ニ潛メ給ヒ殊ニ天明ノ飢歲ニ當リテハ勸儉以テ賑恤ヲ周クシ封內一人ノ餓死ナク民皆其德ニ服ス御年三十幕府ノ執政ニ任ジ家齊將軍ヲ補佐シ政ヲ施スコト公明正大舊弊ヲ改革シ賢ヲ擧ゲ奸ヲ退ケ文敎ヲ興シ武備ヲ振ヒ奢侈ヲ禁ジ儉素ヲ勸メ恩威並ヒ行ハレ綱紀大ニ張リ天下其德ニ服ス實ニ幕政中興ノ元勳タリ公內裏御造營ノ總督トナルヤ龍顏ヲ拜シ天盃ヲ賜ヒ竣工ノ後ハ恩賜アリ又海防ノ總督トナルヤ房總等邊海ノ防備ニ勤メラル後致仕シテ封ヲ世子ニ讓リ退キテ閑地ニ就キ行ヲ勤メ德ヲ修メ幕府ノ恩遇萬民ノ仰替ルコトナク終始ヲ保全シ給フ文政十二年五月十三日薨ズ御年七十二江戸深川靈岸寺ニ葬ル天保五年桑名朝陽山鎭國神公ノ祠殿ニ崇祀シ守國大明神ト申ス明治十三年十月五日縣社ニ列セラレ守國神社ト稱ス全四十一年九月九日贈正三位ノ宣下アリ

## 2、縣社桑名中臣神社

本社ハ俗ニ春日神社ト稱ス大字宮通本町ノ地境ニ鎮坐ノ縣社ナリ桑名神社ハ延喜式ニ列シ桑名首ノ祖神天津彦根命天久比乃命ヲ祀ル中臣神社ハ天日別命ヲ本社トシ春日四社ノ神ヲ合祀ス兩社並坐前ニ石壘敷ノ玉殿アリ樓門ニ桑名宗社ノ扁額ヲ掲ク往時ハ神宮寺佛眼院ヲ置キ田祿五十石ヲ給セラレタリ慶長年中桑名城主本田忠勝公ノ請願ニヨリ神君ヨリ百石ノ御寄附アリタリ社前ノ紫銅ノ大鳥居ハ寛文七年未八月越中守定重公ノ御代建立セラレ慶長金二百五十兩ヲ要セシトイフ承應二年巳六月五日大風ニ吹キ倒サレ再建シタリト傳フ

銘ニ曰ク

華裘巍々　惟直惟圓　神威可畏　保定萬年

味岡幽巖之ヲ銘シ常僧寺七世伯寮ノ書ナリ結構宏壯ナルヲ以テ夙ニ俚謠ニ入リ銅(アカ)ノ鳥居ヲ以テ直チニ桑名ヲ聯想スルニ至レリ又石採神事ハ氏子ノ熱狂ヲ以テ國内ニ著ハル石採神事ハ傳說ニヨレバ昔景行天皇東國御巡幸ノ途次歲ノ七月十七日桑名ニ凱還ヲ聽メ御親祭アリセ給ヒシコトアリ爾後比與利祭ト稱シ毎年其日ニ流鏑馬ノ御神事行ハレタリ今ノ宮通ハ當時ノ馬場ナリト言ヒ傳フ斯クテ毎年神域ニ奉獻スル石ヲ町屋川原ヨリ採リ來ランガ爲老若男女氣遣節面白ク車ヲ曳キ出シタルガ此神事ノ起源トナリ後ニハ鉦ヲ鳴ラシ太鼓ヲ叩キ行列勇マシク行ハルヽニ至リシガ藩主松平定綱公ノ御深慮ニヨリ其行事ヲ利用シテ輜重ノ役目ト將卒ノ元氣ヲ鼓舞セシメラレタルガ原因トナリテ祭事以外或意味ニ於テ雜有キモノナリトノ觀念ヲ桑名町人士ノ腦裡ニ深ク抱カシメタリ今ヨリ約百年前樂翁公ノ御深慮ニ基キ元來比與利祭ト石採行事トハ全然別個ノモノナルニ拘ハラズ桑名人士ノ腦裡ニ石採行事ヲ祭典ノ如クニ思ヒ込ミ居ルコトノ深キヲ察シ給ヒ終ニ此行事ヲ純然タル祭典神事トシテ比與利祭ト併セ行ハシムルコトニナサシメラル爾來年々祭典ノ盛況ヲ呈シ山車ノ華麗ヲ競ヒ鉦鼓齊調ヲ爭ヒ滿街湧クガ如ク士民熱狂ス祭日ハ例年七月六七日兩日ナリシモ近年之ヲ十一十二日ニ改メタリ近國ヨリ來集ノ觀客市街ヲ塡ム

## 3、縣社立坂神社

本社ハ俗ニ八幡宮ト稱ス大字矢田、矢田磯ノ地界ニ鎮坐スル縣社ナリ大日靈貴尊神功皇后應神天皇玉依姫ノ諸神ヲ祭神トス後明治四十一年二月廿日益生村大字上野ニ鎮坐アリシ村社四宮神社富士淺間神社及山神社ヲ合祀ス抑大日靈尊ハ本社創立ノ祭神トシテ延喜式神明帳ニ伊勢國桑名郡立坂神社トアリ有栖川一品熾仁親王御雅立坂神社ノ額額ヲ存ス明治二年明治天皇御東幸ニ際シ奉幣使ヲ差遣サレ金幣ノ供進アリ古來獵師家ノ歸依最モ深ク定紋ノ幕提灯等ノ寄進アリ領主世々崇敬篤シ神功皇后應神天皇玉依姫ノ諸神ハ矢田八幡宮ト稱セラル天正年

中豊臣秀吉尾張五明ニ對陣スルヤ織田信雄ノ陣所矢田磧ニ赴キ和ヲ講セシトキ八幡宮ヲ假リニ此大日社地ニ祭リタルヲ以テ爾來八幡宮ハ本社殿ノ如ク大日社神ハ末社ノ如クナレリ降テ慶長年間德川家康大阪陣ノ際本多忠勝矢田磧ニ勢揃アリ此時八幡宮ニ祈禱ヲナシ出陣シテ大ニ戰功ヲ收メ歸陣後其子忠政更ニ石清水八幡宮ヲ勸請シテ之ヲ桑名八幡宮ト稱シ其後地名ニ據テ矢田八幡宮ト改稱ス本社合殿神ナリ明治十七年八月縣社ニ昇格全三十九年十二月三重縣告示第三百八十號ヲ以テ神饌幣帛供進ノ神社ニ指定セラル大祭ハ十月十八九日行ハル兩日ハ模造物ノ來納及三個ノ大蹴鞠ノ献納ハ夙ニ縣下ニ著レ參詣者絡繹トシテ織ルガ如シ

## 4、鄕社神館神社

益生村大字江場字神戸

祭神　天照大神
　　豊受大神
　　倭姫命
　　大山祇神
　　大產靈神

說曰

倭姫命神器ヲ奉ジテヨキ御座所ヲ求メテ大和ヨリ諸國ヲ經テ蠣塩附近(古ハ三洲ノ岬ト呼ブ)ニ暫シ足ヲドヽメサセラレ其處ニ行宮ヲ建給フ、再ビ處々ヲ經テ五十鈴川ノ上流ニ安置シ給フ人々ノ行宮ノ跡ニ一祠ヲ建テ、神館神社ト稱セリ、時正ニ垂仁天皇十七年九月ナリキ

一、由緒　右神社ノ創立ハ垂仁天皇十七年九月十三日ナリ倭姫世記ニ云　垂仁天皇十四年己巳秋九月一日巡幸于伊勢國桑名郡野代宮四年奉齊次鈴鹿奈具波忍山ニ神宮造奉六個月奉齊此時巡幸ノ御道筋御休泊ノ處々ニ神館ヲ被爲建候故宮ニ天照大御神倭姫命ヲ祭祀仕後ニ豊受比賣命ヲ勸請仕候神館ヲ建置カレシ所ヲ神戸ト云故ニ桑名神戸、河曲神戸、鈴鹿神戸、飯南神戸等也該社ノ近傍ノ地字ヲ神戸神供神田古幣田大夫殿給祠宜四等アリ

皇大神宮儀式帳ニ云フ、纒向珠城宮宇治目天皇御世伊勢桑名野代宮坐其宮爾座伊勢國造遠祖建波方ヲ汝國名何何問賜曰久神風伊勢國止白支神御田並神戸進支倭姫世記云伊勢國桑名野代宮四年奉齊于時國造大若子命參相御供仕奉國內風俗令白支又國造建日方命參相支汝國名何問賜答白神風伊勢國止白進舍人弟伊爾方命

又地口神田並神戸

神風抄云　桑名郡神戸廿七町御神酒三斛副米九斗祭斗祭料並造酒米一石懸力稻二十來伊勢國風土記桑名郡云

神戸岡此地多出桃花少而其實大如雞卵土民食之無病又商也全書ニハ榎葉神社圭田二十五來
右ノ書類ニヨリテ案ズルニ此ノ江場村ハ神戸岡ト稱來稱スルハ之レ正シク御還幸ノ舊跡且御厨神社ナルコト
必セリ該神ニ獅子頭二頭アリコレ當國鈴鹿郡山本或ハ箕田ナト、同作ノ由云傳タルコトナリ又高倉天皇ノ勅
納巻目ノ作亦ハ安阿彌ノ作トモ口碑ニ傳ヒ三重郡椿地ト云フ所ニ大樹ノ椿アリテ之ヲ以テ十二頭ノ獅子ヲ彫
刻セシメ當國ノ名社ハ勅納アリシトナリ所謂稻生二頭、山本一頭、鄙山一頭、中戸二頭、箕田一頭、小許曾
一頭、智積一頭、坂部一頭、右神館ニ二頭アリ、委細ハ稻生獅子傳記ニ詳ナリ
明治十四年九月廿八日鄉社格加列
明治四十一年一月二十二日大字江場字中繩無格社山社神全年六月二十四日大字濱川無格社大歳嶽社半宮ノ島
全大歳嶽社、本社境内社神館神社明治四十二年四月一日大字鍋屋町無格社一目連社ヲ合祀スルノ許可ヲ受ケ
明治四十一年六月二十日及明治四十二年四月五日合祀ヲ執行セリ例祭ハ毎年十月十三日執行ス

## 5、鄉社　天武天皇社

鍋屋町ニ鎮坐ノ鄉社ニシテ天武天皇及皇后高市皇子ヲ合祀ス壬申ノ亂ニ天皇皇后ト共ニ桑名ニ幸シ給ヒシ那ハ
日本紀ニ明ナリ其頓宮ノ址ハ大字新屋敷ニ在リ天皇御足洗ノ水ナリト稱スル泉ノ井古井今尚該地ニ存セリト雖
多年荒廢ニ委シ由緒アル遺趾モ空シク埋沒ニ歸セントスルヲ慨キ近年氏子有志相諮リ保勝會ヲ組織シ費ヲ裒シ
テ營繕ヲ加ヘテヨリ其結構大ニ見ルベキモノアルニ至レリ蓋シ後世此地ヨリ鍋屋町ニ移シタルモノナラン乎祭
典ハ十月十五十六日行ハル

## 6、鄉社　赤須賀神明社

永祿六年九月十一日市場茂左衛門秀高三河國新願所ナル神明社ノ御靈代ヲ勸請シテ桑名元赤須賀ノ地ニ來安シ
氏神トシテ尊信ス赤須賀獵師町伊藤俊太郎舊記ニ依レバ祖先市場茂左衛門秀高若干貫ニテ三河國市場村ヲ領セ
シニ永祿四年故アリテ三河ヲ去リ氏ヲ伊東ト改メ其家臣九人ヲ率イテ桑名元赤須賀ニ來住シ家臣ヲシテ漁業ヲ
營マシム其後源左衛門ニ至リ桑名城主松平定綱公城廓ヲ擴ムルニ當リ新田ヲ開キ漁人ヲコヽニ移ラシム即チ舊
赤須賀ノ地ナリ慶安三年九月廿七日藩費ヲ以テ此地ニ神明社ヲ遷坐セシメラルヽニ際シ漁人等船數十艘ヲ艤シ
海上渡御ヲ了リタリトアリ此日桑名鄙多度村ヨリ一目連神社ヲ勸請シテ境内社トス
本社祭神ハ天照大神宇迦之御魂命外七神ヲ合祀シ境内一目連神社ハ天目一箇命ヲ祭神トス後揖斐川改修後明治
四十三年六月七日現在ノ社地ニ奉遷ス本社例祭ハ毎年十月十一日境内社例祭ハ十月廿七日トス

## 7、村社　北桑名神社

上古江奥神明社ト稱ス古草昧ノ頃ハ揖斐川四方ニ灣流シテ入江ヲナシ尾野入江ト呼ベリ此入江ニ沿フテ北ニ走リタル一帶ノ丘陵アリ之ヲ尾野山ト呼ブ今ノ西桑名町大字東方ヨリ北一帶ノ地ナルベシ當時鎭坐ノ地今詳ナラズト雖モ今ノ愛宕山ノ邊ナルベシトイフ垂仁天皇二十六年丁巳秋八月勸請三崎神明社即チ是ナリ中古今ノ地ニ鎭坐ス天照大神ヲ奉齋スルハ皇太神宮御遷幸ノトキ本郷野代ニ奉齋セリ想フニ野代ノ地往時江ノ奥ナリシナルベシ慶長十九年八月本多美濃守忠勝公社殿ヲ改造シ寶永年間關東地方ヨリ那參アリト當神社舊記ニアリ祭神ハ建速須佐之男命大日孁貴尊外八神ヲ並祀ス明治四十一年六月及十月佐乃富神社三崎寶殿若宮社其他北桑名ニ於ケル諸神ヲ合祀シ北桑名總社北桑名神社ト改稱ス例祭八月十五十六日トス

## 8、村社　八重垣神社

大字大福ニアリ

祭神　素盞嗚尊

此ノ社ハ清和天皇貞觀年中（　）奉勅ニヨツテ、ト部清麻呂、尾張國津島牛頭天王ヲ帝都祇園ニ勸請ノタメ當所通御ノ節供御ヲ献セシ地ナリトイフ



# 七、佛閣

## 1、淨土寺

桑名清水町ニ在リ淨土宗四山派ニシテ釜野山西岸院ト稱ス京都光明禪林兩寺ノ末寺タリ往時或ハ三崎ノ神宮寺ト稱シ寶治中僧道觀中興ス寺内ニ本多忠勝公及其臣中根忠實榎忠勝ノ墓アリ

## 2、本統寺

桑名町寺町ニ在リ淨土眞宗東本願寺派ノ別院ナリ元龜天皇ノ頃本願寺僧徒織田信長ト兵ヲ構フノトキ諸國門末寄々評議所ヲ構ヘ本山ニ兵糧ヲ貢ギシガ尾濃勢三國ノ門末此地ニ一道場ヲ構ヘ評議所トス當時寺號ヲ定メズ今寺ト稱ス慶長六年教如上人ノ女剃髮シテ本寺ニ來住シ桑名御坊ト云ヒ慶安年中ニ本統寺ト號ス當地巨刹ノ一ナリ書院ノハサマニ蜘蛛ノ巣ニ馬ノ刻アリ古歌ノ心ナルベシ

くものゐにあれたるこまはつなぐとも
二道かくる人はたのまじ

### 3、法盛寺

萱町ニ在リ淨土眞宗西本願寺ノ別院ナリ古ハ天臺宗ノ末寺タリ三州矢矧村ニ在リ阿彌院寺ト號ス親鸞上人茲ニ布教シテ暫留シ其法弟忠圓房ヲ茲ニ住セシム之ヨリ當宗ニ改ム其後應仁ノ亂ヲ避ケテ桑名町ニ移リ今ノ寺號ニ改ム本尊阿彌陀佛ハ伽藍慶ノ作ナリト傳フ長三尺餘御丈具足ス世ニ之ヲ尚吹如來ト稱ス

草やなありかたやとそいはれけり

南無阿彌陀佛のみなのほかには　蓮如上人

### 4、圓通寺

法城山圓通寺ト稱ス、江場村大字江場屋敷ニアリ、淨土眞宗西派ナリ

本堂ハ明治四十一年一月十六日改築ノ許可ヲ得、同年工ヲ竣ヘタリ、本尊阿彌陀如來、左桑名所圖會『左後奈壁院位碑アリ、九條殿下弟松殿トイフ』トアリ桑名名勝志ニ左壇『宗祖眞影』トアリ、右壇『僧慧院殿影』トアリ久波奈名所圖會ニハ『僧入院殿影』トアリ

## 八、名所舊跡

### 1、川口港

町ノ北端揖斐川ニ沿フ東海道ノ海路七里ニシテ尾張ノ熱田港ニ達ス俗ニ七里ノ渡トイフ古所謂間遠ノ渡ハ即チ之ナリ又佐屋廻トテ海路三里津嶋船ノ發着セシ所ナリ此處伊勢ノ入口ナレバトテ港上ニ大鳥居ヲ建テ大神宮一ノ鳥居ト稱シ毎年六月鳥居祭事アリ又上流尾張地方ニ舟掛ノ便アリ故ニ該地方ノ貨物概ネ茲ニ集散シテ市街ノ殷盛ヲ極メタルモ明治三十年木曾川改修ノ工ヲ竣ハルト同時鐵路全通ノ爲空シク中間驛ノ觀ヲ呈シ復往時ノ盛況ヲ見スト雖モ尚舊態ヲ存シ貨物集散ノ要泊地タルヲ失ハズ

有明の月に間遠の渡して

さまり惜かぬ夜半の舟人　（名所圖繪）

いとどしく過き行くかたの戀しきに

うらやましくもかへる涙かな　（伊勢物語）

舟泊桑名城下　梁星巖

遠水無浪日已沈　萬瀧檣々立如林
青楓翠樂多年夢　白露蒹葭此夕心
斷續弄風江叟笛　丁東搗月女郎砧
聲々未盡無情思　來聽鑒窓半夜吟

あれ見やれくわなくわたる道風にいせとなはりかたつた一時

## 2、照源寺

桑名町ノ四四桑名町大字東方ニ在リ東海山泥洹院ト號ス浄土宗鎮西流義ニシテ智恩院ノ末寺タリ公家菩提所ノ一ナリ寛永元年松平隱岐守定勝公御逝去定行公臺許ヲ得一寺ヲ創建シ崇源寺ト稱ス遠州掛川天然寺傳命三甫ヲ以テ開基トス寺領三百石ヲ附セラル後桑名藩祖大鋭公美濃大垣ヨリ當城ニ御移リアリタル時智恩院ヨリ深榮長窟ヲ請フテ崇源寺住職トナシ寺名ヲ照源寺ト改メ二百石ヲ附セラル爾來桑名藩主ノ菩提所タリ寺域高キ所四方ニ櫻ノ老樹アリ金龍櫻ト呼ブ藩祖定綱公攝津金龍寺ヨリ分株移植セラレタルモノナリトイフ鉾幹樛牙根際ヨリ八岐シテ蟠ヲ盜ヒ枝條繁茂シ地方稀有ノ名櫻ナリシモ惜シムベシ齡將ニ竭キントスルヲ以テ茲ニ幼樹ヲ植ウ二十四番ノ落風樹頭ヲ助ル、ノトキ爛漫妍ヲ呈シ往時ヲ語ルニ似タリ花時曳杖ノ盛客多シ

花さかりくまある色のゆふばへに
　木の下蔭なもりてあかさん　　定綱公

なかめつゝ花にこゝろは入相の
　かれてぞおもふあかぬ名殘を　　定綱公

寸陰可惜勢陽容　　山寺樓閣招雅賓
今日遨遊爲歡跡　　金龍名品遠移新

## 3、海藏寺

今一色寺町ニ在リ曹洞宗ニ屬ス茲ニ陸奥義士平田靱負以下二十二士ノ墓墳アリ近時此地ヲ相シ桑名義士會ニヨリ忠魂堂ノ建築ナリ多年世廻ニ遺サレタル忠魂義魄ヲ吊慰シ之ヲ祭祀スル時運ヲ招來セル決シテ偶然ニアラズ其天下後世ヲ扶掖シ獻身奉公ノ大義ヲ鼓吹スルニ力強キ規範ヲ示シタルモノトイフベシ、寶曆三年十二月德川九代將軍ノ治世ニ當リ幕府木曾揖斐長良三川ノ治水工事ヲ薩藩ニ命ズ當時平田靱負主命ヲ奉ジテ奉行トナリ部下ヲ率ヒテ具サニ辛酸ヲ嘗メ粉骨碎身工漸ク成ル時ニ寶曆五年三月ナリ尾勢濃三州墨年水難ノ困厄ヲ救フヲ得

タリト雖モ巨額ノ工費ハ算外ノ支出トナレルヲ以テ責任ノ重キニ顧ミ一死以テ君公ニ辨疏セント決シ旅窟ノ下遙カニ思ヒヲ故山ニ馳セ覊貧以下慘然屠腹シテ終ハル翁鑿タル松林綠濃カナル所碑一基往時ヲ語ルヤ切ナリ俗ニ千本松ト稱セラレ兒童走卒モ尚ヨク之ヲ知ル東西古今ヲ問ハス職ニ殉スルノ節亦偉ナリト謂フヘシ

## 4、濱ノ地藏

龍宮山地藏院ハ俗ニ濱ノ地藏ト呼ブ赤須賀ノ東堤掛塰川畔ニ在リ本尊石地藏佛ハ往時貝洲ノ濱ニテ漁夫ノ網ニカヽリタルヲ松ノ五叉ノ岐レタル處ニ安置セシニ夜々龍燈ノ上リタレバトテ其松ヲ龍燈ノ松ト稱シ堂宇ヲ建テ之ヲ安置シタリ當山ハ眞言宗ニシテ大莊刹ナリ開基詳ナラス天正十三年酉十一月廿一日大地震ノタメ堂閣一時ニ崩壞サレ小堂ノミ小松原ノ中ニ殘レリ寛永八年未秋大風ノ時小堂モ亦破損ス寛永十三年子住持照山法印本堂ヲ再建ス修驗宗當山派ニ屬ス其后承應三年午攝津守定良公ノ時堂ヲ堤ノ傍ニ移ス寛文九年酉秋大風アリ堂宇再ビ破損ス全十年戌四月城主ノ御取立ニヨリ舊觀ニ復ス明治三十年三大川改修ニヨリテ今ノ地ニ堂宇ヲ奠メタリ當時地藏堂ノ前ニ常燈明アリ尾張熱田其他地方ヨリノ夜中廻船ノ目標トス實曆年中ヨリ始メタリト傳フ堂側ニ芭蕉翁ノ白魚擬アリ白雉ノ俳句ヲ刻ス

曙やしら魚白き邪一寸

藍シ白魚ハ此地方ノ特產ニシテ風味佳良他ノ追隨ヲ許サヾルナリ此地眺望佳絕ナルヲ以テ春秋ノ交訪客多シ殊ニ汐干狩ニハ最モ良シ

夕陽漫渚ヲ照ラシ風ヲ孕ミテ去來スル漁船水天髣髴ノ間ニ隱見スル樣眞ニ一幅ノパノラマニ似タリ

## 5、揖斐川堤ノ櫻

大字住吉町地先西桑名町大字福島ニ至ル揖斐川ニ添フ堤上約一粁ニ亘リ櫻樹ノ隧道アリ之ヲ鍋屋堤ノ櫻ト呼ブ先代諸戸清六翁ノ植ウル處ニシテ其數當時一萬本ヲ數ヘタリトイフ桑名驛ヨリ約一粁六右廠水ヲ隔テヽ長島ニ對シ左　田畑相連リテ多度江勢ノ諸峰ヲ望ミ風景甚ダ佳ナリ春風駘蕩ノ交爛漫タル艷姿ヲ呈シ觀客多シ夏季灼熱ノ苦ヲ其綠蔭ニ避ケテ行客ノ來往ヲ慰メ四時風致ニ富ム

## 6、愛宕山

益生村大字矢田字城山ニアリ矢田北邊ノ城址ニシテ戰國時代北勢四十八家ノ驍將矢田市郎右衛門之ニ居セシト云フ

永祿三年今川義元ヲ襲ヒ討ツタ織田信長ハ餘勢美濃ヲ屠リ、更ニ伊勢北畠氏ニ向ハントスル途中桑名ヲ蹂躪シ
永祿十一年矢田城ヲ攻メ、市川右衛門最後マデ奮戰シ兵少ナキヲ以テ及バズ陷リタリ
松平定綱公ノ代ニ至リ愛宕神社ヲ奉祀セラレシガ、明治四十四年立坂神社ニ合祀セラレテ廢セラル、山上ニ呑
龍樓アリ、東南伊勢内海ヲ望ミ勢、志、尾、參、遠等ノ諸州ノ山岳皆眼中ニアリ風景絶佳ナリ
桑原此處ニ歡樂スル者常ニ絶エズ、森樓堂樓ノ記ヲ作レリ

## 7、江場城址

佐藤杢之助ノ城址ト稱ス、天正五年ノ矢田城ノ陷リシ頃コレモ亡ビ、永祿元龜ノ頃沒落セリ、大字江場圓通寺
住職ハ末裔ナリト云フ
城趾ハ寺ノ南田ノ中ニアリテ俗ニ城山ト稱セリ

## 8、走井山

大字矢田字城山ニアリ
矢田半左衛門之ニ居シ矢田城ト云フ

（天正二年七月信長ハ一向一揆ヲ亡ボシテカラ長島、桑名城ハ滝川一益ノ居城デアツタ）天正五年織田信長部
將羽柴秀吉、滝川一益等ヲシテ之ヲ攻メシメタ、城主矢田俊元戰非ナルヲ知リ自刄シテ相果テ、城山ニハ敵ノ
壘ガ築カレタ（矢田氏ノ子孫ハ桑名町大字矢田町善西寺ノ住職ナリト云フ）
元和年中山麓ニアリシ觀音堂ヲ山上ニ移シ走井山觀學寺ト稱セシガ、明治維新後廢寺トナリシヲ大字矢田有志
者數名其ノ廢滅ヲ惜シミ說教所トシテ之ヲ保存セリ
山上ハ愛宕山ト共ニ風景絶佳ナレバ春時ハ殊ニ遊覽ノ客群ヲナス

## 9、有王塚

大字矢田字智（有王）俊寛ノ侍童有王丸ノ墳墓ナリトイフ、源平盛衰記ニ載スル所ノ有王丸鬼界ケ島ニ至リ俊
寛ノ悲慘ナル最後ヲ見トドケ遺骨ヲ奉ジ高野山ニ埋葬シソレヨリ修業ノタメ諸國行脚ノ旅ニ出發セシガ偶々齒
痛ノタメニ病ミテ此處ニ死ス
里人集リテ死骸ノ上ニ莚蓆ヲ蓋ヒテ通夜ス
コノ遺風ハ今尙存シ桑名地方ニテ死者アルトキハ其ノ家ノ戸口ニ莚蓆ヲ掛ケテ忌中ノ印トセリ
塚ハ田畝中ニアリ、松樹數本アリテ小祠アリ齒痛ニ苦シム者コノ祠ニ詣ツレバ齒痛止ムトテ今モ尙香花ノ絶ユ

ルコトナシトイフ

一説ニ曰ク、橘諸兄ノ孫有王ノ墓ナリト

大正十四年十二月

初メ桑名町ノ藩封家竹内求太郎氏ノ建立デアツタガ次第ニ荒廢シテ行ク有様ヲ見テ舊益生村ノ人々ガ集ツテ修築シ更ニ永遠ニ傳ヘル可ク

京都東本願寺句佛上人ニ依頼シテ

塚に泣け昔なき跡や友千鳥

ノ風詠ヲ受ケ句碑ヲ建立シタ

## 10、村正屋敷

走井山ノ下ニアリト雖モ今ハ其ノ地ヲ詳ニセズ

刀工千子村正ノ居住セシ所ナリ

村正ノ母走井山ノ千手觀音ニ祈リテ村正ヲ得タレバ千子ヲ氏トストイヘリ

ソノ子孫今大字大福ニ居住シ鍛冶業ヲ營メリ

## 11、大福田寺舊地

公私雜錄ニ云フ

『永應年間、大門村大福田寺地低ナルヲ厭ヒ、深忍法師印住職ノ時、今ノ東方ニ引カル、ナリ』トアリ

大門村ハ今ノ大福ニシテ舊地ハソノ東方ニアリ

## 12、森陳明ノ墓

桑名町傳馬町十念寺ニアリテ桑名市左衛門陳明ハ舊桑名藩ノ重臣ニシテ戊辰ノ變トナルヤ桑名藩首謀者ノ一人トシテ隣長ニ強抗シ事治リテ一藩ノ責ヲ負ヒテ江戸深川ノ刑場ニ斬ラル後遺髮ヲ此處ニ埋メテ墓所トス

## 13、桑名城趾

桑名町三ノ丸吉ノ丸ノ地是ナリ、本丸趾ニハ縣社鎭國守國神社ヲ祭リ九華公園アリ、三ノ丸ノ舊城濠内ハ帝室林野管理局御料材ノ貯藏場トナレリ

## 14、本多忠勝ノ墓

桑名町清水町淨土寺境内ニアリテ本多忠勝公ガ餐ヲ易ヘシ所ナリ墓祠ノ左右古色蒼然タル各一碑アリ重臣中根忠實梶原忠殉死ノ英魂ヲ埋ム



## 九、本町所管區別

陸軍　第十六師團
海軍　吳鎭守府
司法　安濃津地方裁判所　名古屋控訴院
遞信　名古屋遞信局
煙草　名古屋地方專賣局
土木　內務省名古屋土木出張所木曾川工場
林野　大阪營林局龜山營林局
稅務　名古屋稅務監督局

## 十、物　產

### 1、時雨蛤

昔鳥丸光廣卿桑名ヘ宿ラレシトキ蛤ノ煮付ノ風味ヲ特ニ賞味シ蛤ハ時雨ノ時節最モ美味ナリ

神無月ふりみふらずみ定めなき時雨ぞ冬の始なりける

ノ古歌ニ因ミ時雨煮ト呼ブヲ至當トスベシト仰セアリケレバ其レヨリ名稱トナレリ

桑名蛤ハ古來一種ノ特色アリテ殼大ニ肉充實シテ淡味ナリ蓋シ木曾揖斐兩川ノ河口ニ產スルヲ以テ河海潮流攪梅適良ナルニ因ル殼ノ形狀色彩頗ル美麗ナルヲ以テ古來貝合等ニ用フルハ桑名產ヲ第一トセリ昔ハ燒蛤トテ松毬ヲ燒キテ炙リ食ス行客名產トシテ之ヲ推賞ス古キ句ニモ　時雨るゝや燒蛤の煮ゆる音　ナドヽアリ今ハ時雨煮ヲ專ラトシ醬油ヲ以テ蛤ノ肉ヲ煮生姜ヲ和シ日ヲ經ルモ其味變ルコトナシ近年其製法ニ改良ヲ加ヘ且ツ容器モ多ク罐詰トシタレバ數年月ヲ保チ得ベク旅客ノ携帶ニモ便利トナレリ販路モ隨テ四方ニ普及シ當地主要ノ物產トナレリ

いまぞしる間違の浦の蛤を貝合とぞ拾ふものかは　（宗祇）

## 2、白魚

白魚モ蛤ト共ニ木曾掛渡兩川ノ注入スル河口ニ漁ス漁期ハ十月ヨリ翌年五月ニ至ル然レドモ一二月ノ交ヲ最モ可トス鑄留又ハ枕止ノ張網ニテ之ヲ漁獲ス幕府時代ニ於テ蛤ト共ニ献上品ノ一タリ當時ハ目刺トシテ献上セリ色純白ニシテ味極メテ美ナリ古ハ多ク乾魚トシテ地方ハ販出セシガ今ハ汽車ノ便ニヨリ生魚ノマヽ需用地ニ輸送セラル殊ニ時雨煮ハ又紅梅煮ト稱シ風味上品ナルヲ以テ鑛詰トシテ各地ニ販路ヲ開クニ至レリ

## 3、伊勢海苔

伊勢風土記ニ桑名郡田鶴濱ニ長戸アリ此邊海苔多ク青々トシテ連綿五尺餘ニ及ブ土民食シテ飢ヲ救フ別テ濱ノ地磯岸ノ青海苔ハ上品ナリ地藏院ヨリ御城主並ニ高貴ニ献上ス嚴冬ノ節採ル處ノモノ格別ニ色青ク清味ナリ風土記撰集ハ四百餘年古ノ事ナレバ地名ハ分明ナラザレドモ土地ノ物産變ラザレバ此濱邊ノ舊名ナルベシトアリ蓋シ現今ノ赤須賀地方ヲ指シタルハ推測ニ難カラズ抑モ赤須賀ハ木曾掛渡長良三大川ノ湛域ニシテ古來水ニ惡マレタルコト多ク住民生活ノ資ハ總テ水産ニ仰ギタルハ史實ノ證明スル所ナリ明治三十年九月赤渚水産株式會社ヲ設立シ紫菜養殖事業ヲナシタルモ豫期ノ目的ヲ收ムル能ハズ然ルニ該養殖事業ハ前途有望ナルニ鑑ミ明治三十五年七月亦須賀漁業組合ノ設立トナリ全三十九年三月伊賀嶋村漁業組合ト相謀リ之ガ區劃漁業權ヲ買得シ爾來鋭意養殖ヲ試ミタルモ成績芳シカラズ或ハ先進地方ニ視察ヲ試ミ又ハ專門家ニ就キテ學理ノ應用ヲ徹底シ或ハ種子場ヲ求メ移殖ニヨリテ養殖ノ進歩ヲ圖リ製造及貯藏方法ヲ改良シ伊勢海苔ノ名ニヨリテ廣ク縣外ニ販路ヲ求ムル等苦心慘憺宜シキヲ得テ今ヤ我海苔ハ東京本場ニ比シ決シテ遜色ナキ優品ヲ製出スルニ至リ大正三年以後高貴ヘノ献上又ハ御買上ノ御用命ヲ蒙リタルコトアリ最近ニ於ケル養殖面積ハ四十五萬六千餘坪漁獲株二十五萬株産額十五萬圓前途頗ル有望ナルニ至レリ

## 4、桑名盆

桑名盆ハ古來堅質ナルヲ以テ有名ナリシガ之ヲ給仕盆ニ應用シ發賣シタルニ時好ニ投ジ賞讃ヲ博シタリ文政年間藩主松平樂翁公深ク其ノ古雅ト堅質ヲ愛玩シ幕府献上品トシテ時ノ滝家谷文晁ニ命ジ嘉蒲蕪菁ヲ描カシメラレシヨリ世ノ嗜好ニ投ジ此圖ヲ愛シテ此マヅ遂ニ專ラ蕪菁ヲ畫キ蕪菁盆ト稱スルニ至レリ公ノ蕪菁ヲ描カシメラレタルハ『人常咬得菜根則百事可做』ノ古語ニ思ヒ寄セラレ人能ク淡白ニ甘ンジ外界ノ誘惑ニ陷ラザレバ百事成ラザルナシノ意ヲ寓セラレタルナリトイフ素此器ハ表裏共黑背漆塗ノミナリシガ近來大ニ其態樣ヲ改良シテ金銀蒔繪ヲ用ウルニ至レリ獨リ盆ノミナラズ之ガ俺圖ヲ廣メ菓子器會席膳吸物椀等古雅優美ノ品ヲ製出スル

ニ至リ躍テ販路モ擴張セラル、ニ至レリ

## 5、桑名萬古

元文年間桑名ノ豪商沼波五左衛門弄山ト號シ澄ヲ陶法ノ研究ニ委ネ初メテ窯ヲ發キ交趾或ハ和蘭陀ノ彩色釉薬ヲ模倣シ其技眞ニ逼ル天明六年幕府ノ命ニヨリ東都本所小梅ニ移リ居シ陸離燒ニ類スル釉面ニ彩畫ヲ施セル一種ノ陶器ヲ創作シ萬古ノ印ヲ欵ス後世江戸萬古或ハ古萬古ト稱シ今尚嗜好者骨董家ノ愛玩秘藏スル所タリ

然レドモ弄山此法ヲ子孫ニ傳ヘズ名工空シク廢絶ニ歸ス天保年間桑名ノ骨董家森有節之ガ再興ヲ企テ小向村ニ窯ヲ築キタルガ國産奬勵ノ爲桑名藩主食餌ヲ給シ研究ニ盡サシメタル所謂有節萬古ト稱セラルヽモノニシテ世ニ之ヲ萬古中興ノ祖トイフ

文久明治ノ初ニ至リ陶業三重郡ニ擴リ海外輸出内地ノ需要等販路益々增大スルニ至レリ當時桑名モ陶業盛ナリシガ漸ク衰退シ發祥ノ地名技遂ニ埋沒シテ之ヲ繼承スルモノナク當町無二ノ名産モ徒ニ他ノ窯出ニ委スルヲ慨キ清香堂主加賀月輔父祖ノ業ヲ其弟ニ讓リ往時ノ聲價ヲ復興スルヲ念トシ有力者某々氏等ノ援護ヲ得大正十年以來錦窯ヲ開ニ桑名萬古特有ノ固性發揮ニ鋭意苦心ヲ重ネ大正十五年六月本縣ヨリ閑院宮家ヘ獻上ノ香爐窯製ヲ委囑セラレ首尾ヨク御嘉納ノ光榮ヲ荷ヒタル等精巧ノ作品ヲ出シ圖案意匠亦大ニ見ルベキモノアリト雖モ未ダ多額ノ産出ヲ許サヾルハ頗ル遺憾トスル所ナリ

## 6、打刃物

往昔北勢四十八士中ノ人後藤庄左衛門、内山四郎左衛門等信長ノ爲ニ亡サレ此地ニ移リ住シ鍛冶ヲ創始セシヨリ子弟姻戚ノモノ多ク分戸シ金業ヲ開始シ漸ク繁盛軒ヲ並ブルニ至リ爲メニ町名ヲ鍛冶町トイフニ至レリ中比大道又左衛門ナルモノ刀劍ヲ鍛冶シテ名アリ其弟子廣道廣房等有名ナリシガ明治維新廢刀ノ後ハ專ラ農具等ヲ鍛冶セリ就中方今桑切庖丁、魚庖丁、菜切庖丁等盛名アリテ遂ニ桑名庖丁ノ名ヲ專ラニスルニ至レリ

## 7、鑄物

桑名ノ鑄物工業ハ全國ニ其類ヲ唱ヘ特産アイロン、ストーブ等ハ全國著名輸出品ノ一ナリ蓋シ鑄物製作中第一ハ型砂ト通風ニ天惠ノ利ヲ占メ他地方ノ追從ヲ許サヌ良品ノ大量生産ヲナシ得ル爲ナリ已ニシテアイロン業者ハ全國ニ率先シテ工業組合法ニヨル日本アイロン工業組合ヲ組織シ全國製品ノ統一値段ニ實權ヲ把握シ廣ク海外ヘ續々製品ヲ輸出シ居レリ

ストーブ、ジヤツキ、コンロ其他製品ノ何タルヲ問ハズ凡ソ日用品中大試生産ニ適スル品物ハ悉ク歸物ニ依ツテ考案セラレソノ外機械類其間ノ業者モアリ電氣用品、船舶用品、紡織機、プーリー、稻扱機等著シキ發達ヲ見近年一般重工業界ノ活況ニツレ目覺シキ發展ヲ示シツヽアリ

## 8、琺瑯鐵器

明治三十四年鍋屋町廣瀬與左衛門氏琺瑯鐵器ノ製作ヲ創ム時運ノ進展ニ伴ヒ明治四十年六月株式組織トナシ商號ヲ琺瑯鐵器株式會社ト稱ス全四十二年六月政府ヨリ成型壓搾機械外十四点ヲ借受ケ大ニ製品ノ改善ヲ加フ大正二年ノ春ヨリ支那輸出ヲ開始ス斯界ニ於テ海外輸出ヲナシタルハ當社ヲ以テ嚆矢トス大正三年世界大戰ノ勃發ト共ニ世界ニ類ヲ唱ヘシ獨墺國品ガ東洋市場ヘ搬入杜絶ノ機會ヲ捉ヘ支那ハ固ヨリ海峽植民地、シヤム、ビルマ、印度、南洋諸島、埃及、墨西哥等ニ盛ニ輸出セリ

製品ハ堅牢鮮麗且ツ廉價ニシテ耐久力強ク家庭什器、厨房用具トシテ廣ク歡迎使用セラル大正十一年六月商號ヲ三重琺瑯株式會社ト變更シ專ラ輸出品ノ製作ヲ主眼トス近年低爲替ヲ利シ上海ノ外濠洲、東部アフリカヘ盛ンニ輸出ヲ行ヒツヽアリ

## 9、タオル

明治四十四年六月浦戸タオル合名會社設立セラレ百有餘ノ職工ヲ收容シ瓦斯動力ニ依リ生産ヲ開始シ累年異常ノ發展ヲ示シタリ更ニ大正十二年工場ノ擴張ト共ニ優秀ナル機械其他器具機械ヲ輸入シ他面工業電化ニ伴ヒ電動力ニ變更シ常時數百ノ從業員ヲ收容シ各部ニ專任技術員ヲ配置シ染色、意匠、品質ノ改善ニ努メシ結果共成績頗ニ揚リ其ノ販路ハ東京、大阪等內地主要都市ニ普シ

## 10、漁網

明治四十一年十月山本重治郎氏個人經營ヲ以テ山本製網所ヲ創立シ爾來一意特徴アル漁網地ノ製出ニ努ムルト共ニ一面山本式編網機ノ發明ニ腐心スルコト數年遂ニ日本式及洋式編網機ノ發明ヲ完成シ十餘種ノ特許權ト新案權ヲ得常ニ數百名ノ職工ヲ收容シテ自家製造ノ洋式大編網機百數十臺ヲ運轉シ以テ蘇聯邦、南洋、北米、歐洲方面ノ輸出ニ仕向ケ刑務所及家庭作業ヲ利用シテ內地向ニ充テ益々斯界ノ名聲ヲ博スルニ至レリ

# 十一、土　地

## (1) 土地大別

| 官有地 | 民有有租地 | 民有免租地 | 計 |
|---|---|---|---|
| 一、三五反 | 三、一七七反 | 四反 | 四、三五一反 |

## (2) 民有有租地

昭和十年度

| 地目 | 反別 | 貸貸價格 | 一反當貸貸價格 | 雜數 |
|---|---|---|---|---|
| 田 | 一、四四〇、三〇〇歩 | 四、九五四円 | 三、九五六円 | 三、七七〇 |
| 畑 | 三四、三二〇 | 四、九七七 | 三、一〇四 | 一、一六六 |
| 宅地 | 一二五、八五七 | 三六、〇二一 | 三〇、九五五 | 三、一〇四 |
| 山林 | 八、三五四 | 四九 | 一〇四 | 一四一 |
| 原野 | 一、九六一五 | 三六 | 一、八三一 | 一〇四 |
| 雜地 | 三、三〇 | 四三 | 五、八七七 | 一二七 |
| 合計 | 三五、六八九 | 三九、六五三 | 三九、四五三 | 三、四一八 |



## (3) 田畑所有者別

昭和十年三月三十一日現在

| 地目 | | 本町民所有地 | 他市町村民所有地 | 計 | 本町民ノ他市町村ニ於ケル所有地 | 差引本町民所有地 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 田 | 反別 | 一二五、三三九歩 | 四八、九二〇歩 | 一六四、三〇〇歩 | 七四、三一八歩 | 八九、九〇二歩 |
| | 貸貸價格 | 三四、三五八円 | 一四、一三七円 | 四八、四九五円 | 一三、三五六円 | 三四、八六四円 |

| 如 | 反 | 別 |
|---|---|---|
| 賃貸價格 | 三、九五五町歩 | 三、七二五町歩 | 三、四二〇町歩 | 一、〇三三町歩 |
| | 四、四〇〇円 | 五七円 | 四、九七円 | 三、三七円 | 六、六三一円 |

(4) 本町民(本町内)土地所有反別人員表

| 十町歩以上 | 五町歩以上 | 三町歩以上 | 一町歩以上 | 五反歩以上 | 五反歩未満 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一 | 一 | 三 | 四 | 五 | 二八七 | 二九六 |

# 十二、戸口

## (1) 本籍並現住人口及戸數

昭和九年末現在

| 年次 | 本籍人口 男 | 本籍人口 女 | 現住人口 男 | 現住人口 女 | 現住人口 計 | 現住戸數 | 一戸ニ付現住人口 | 本籍人口ニ對スル現住人口ノ歩合 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 昭和七年 | 四、五七三 | 四、八六六 | 四、五六六 | 四、八六六 | 九、四三二 | 五、四五五 | 四・九五 | 九一% |
| 昭和八年 | 四、七三三 | 四、九四四 | 四、七三三 | 四、九四四 | 九、六七七 | 五、八三三 | 四・六五 | 九一% |
| 昭和九年 | 四、九三五 | 五、〇三七 | 四、九三五 | 五、〇三七 | 九、九七二 | 五、八七七 | 四・七四 | 九一% |

(2) ノ一 本籍人口動態

昭和九年末現在

| 年次 | 出生 | 死亡 | 死産 | 婚姻 | 離婚 | 其他 傳入 | 其他 傳出 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 昭和五年 | 三六六 | 三四三 | 六三 | 二五九 | 三五 | | |
| 昭和六年 | | | | | | | |

## (2) ノ二 人口動態

昭和九年末現在

| 種別 | 昭和九年 本籍人 | 昭和九年 非本籍人 |
|---|---|---|
| 出生 | 八三 | 一四 |
| 私生子認知 | 九 | 二 |
| 養子縁組 | 一四 | 三 |
| 同離縁 | 三 | 一 |

| 種別 | 昭和九年 本籍人 | 昭和九年 非本籍人 |
|---|---|---|
| 家督指定 | 三 | 一 |
| 入籍一家創立 | 三 | 一 |
| 離婚復籍拒絶 | 三 | 一 |
| 廢絶家 | 五 | 二 |
| 分家及廢絶家再興 | 六 | 一 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 昭和七年 | 七八 | 四一 | 三〇 |
| 昭和八年 | 八三 | 四四 | 三六 |
| 昭和九年 | 七九 | 四四 | 三六 |
| 平均 | 七四 | 四二 | 三三 |



## (3) 現住職業別戸口

昭和九年十月一日現在

| 職業別 | 戸數 | 總戸數ニ對スル百分比 |
|---|---|---|
| 農業 | 一八〇 | 三〇·七 |
| 公務自由業 | 四九 | 八·三 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 婚姻 | 五六 | 一〇 | 六 |
| 離婚 | 四 | 一 | 二 |
| 婚姻 | 一四 | 二 | 三 |
| 后見 | 六 | 一 | 二 |
| 隱居 | 一 | 一 | 二 |
| 失踪 | 三五 | 一 | 一 |
| 死亡 | 一三 | 三 | 一四 |
| 家督相續 | 一五 | 一 | 二 |
| 仝廢除 | 一 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 氏名變更 | 一〇 | 二 | 六 |
| 戸籍訂正追完 | 一 | 一 | 一 |
| 管内轉籍 | 二 | 一 | 三 |
| 轉入籍 | 一 | 一 | 三 |
| 轉除籍 | 一 | 一 | 二 |
| 入籍通知 | 三 | 一 | 四 |
| 計 | 一四五 | 一 | 二九〇 |

| 種別＼年齢別 | 男 | 女 |
|---|---|---|
| 未滿十一才 | 一〇、〇〇〇 | 一〇、〇〇〇 |
| 十一才以上 | 八、八〇〇 | 八、〇〇〇 |
| 二十一才以上 | 一四、三〇〇 | 一四、〇〇〇 |
| 三十一才以上 | 一五、九〇〇 | 一五、〇〇〇 |
| 四十一才以上 | 一二、六〇〇 | 一二、〇〇〇 |
| 五十一才以上 | 九、三〇〇 | 九、〇〇〇 |
| 六十一才以上 | 五、九〇〇 | 五、〇〇〇 |
| 七十一才以上 | 四、〇〇〇 | 四、〇〇〇 |
| 八十一才以上 | 三、二〇〇 | 三、〇〇〇 |
| 九十一才以上 | 五、一〇〇 | 五、〇〇〇 |
| 計 | 一〇、〇〇〇 | 一〇、〇〇〇 |

## (4) 死亡者年齢別

昭和九年末現在

| 種別 | 男 | 女 |
|---|---|---|
| 工業 | 一、五〇〇 | 三、〇〇〇 |
| 商業 | 一、三〇〇 | 三、〇〇〇 |
| 交通業 | 四、三〇〇 | 七、〇〇〇 |
| 水産業 | 三、〇〇〇 | 四、〇〇〇 |
| 其他有業者 | 三、〇〇〇 | 四、〇〇〇 |
| 家事使用人 | 三、〇〇〇 | 四、〇〇〇 |
| 無職業 | 五、八〇〇 | 一〇、〇〇〇 |
| 計 | 一〇、〇〇〇 | 一〇、〇〇〇 |

## (5) 死亡者職業別

昭和九年末現在



| 種別＼業別 | 男 | 女 |
|---|---|---|
| 鑛業 | 一 | 一 |
| 公務及自由業 | 六五 | 六五 |
| 交通業 | 四〇 | 四〇 |
| 農業 | 三四 | 三四 |
| 商業 | 三五 | 三五 |
| 工業 | 五四 | 五四 |
| 水産業 | 六七 | 六七 |
| 其ノ他有業者 | 二二 | 二二 |
| 無職業 | 一三六 | 一三六 |
| 計 | 一三〇 | 一三〇 |

## (6) 死亡及死産數月別

仝

| 種別＼月別 | 死亡 | 死産 |
|---|---|---|
| 一月 | 一七五 | 一七 |
| 二月 | 一三四 | 一三 |
| 三月 | 一四三 | 一四 |
| 四月 | 一三五 | 一三 |
| 五月 | 一二九 | 一二 |
| 六月 | 一四四 | 一四 |
| 七月 | 一四六 | 一四 |
| 八月 | 一二八 | 一二 |
| 九月 | 一四四 | 一四 |
| 十月 | 一三四 | 一三 |
| 十一月 | 一五六 | 一五 |
| 十二月 | 一三〇 | 一三 |
| 計 | 一七四五 | 一七四 |

## (7) 現住人年齢別

仝

## (8) 出生數月別

仝

| 種別＼年齢別 | 男 | 女 |
|---|---|---|
| 十一才以下 | 三、〇九八 | 三、〇〇五 |
| 十一才以上 | 二、四九二 | 三、三二三 |
| 二十一才以上 | 三、〇九〇 | 三、六二五 |
| 三十一才以上 | 一、六五五 | 一、六八八 |
| 四十一才以上 | 一、三三三 | 一、三四〇 |
| 五十一才以上 | 一、〇九八 | 一、〇七〇 |
| 六十一才以上 | 六四三 | 六九六 |
| 七十一才以上 | 三〇〇 | 四二一 |
| 八十一才以上 | 九六 | 二四 |
| 九十一才以上 | 三八 | 四 |
| 計 | 三、八四〇 | 四、四六五 |



## (9) 私生子及庶子出生數月別

仝

| 種別＼月別 | 男 | 女 |
|---|---|---|
| 一月 | 三四 | 三五 |
| 二月 | 三五 | 三四 |
| 三月 | 三六 | 三六 |
| 四月 | 三四 | 三〇 |
| 五月 | 三六 | 三三 |
| 六月 | 三三 | 三五 |
| 七月 | 三五 | 三三 |
| 八月 | 四四 | 三五 |
| 九月 | 三五 | 三四 |
| 十月 | 三六 | 三六 |
| 十一月 | 三四 | 三三 |
| 十二月 | 三八 | 三六 |
| 計 | 四三五 | 四〇六 |

## (10) 婚姻離婚數月別

昭和九年末現在

| 種別＼月別 | 私生子 男 | 私生子 女 | 庶子 男 | 庶子 女 |
|---|---|---|---|---|
| 一月 | 一 | 一 | 三 | 三 |
| 二月 | 一 | 二 | 一 | 四 |
| 三月 | 一 | 一 | 一 | 三 |
| 四月 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 五月 | 二 | 二 | 二 | 二 |
| 六月 | 一 | 一 | 二 | 二 |
| 七月 | 一 | 一 | 二 | 四 |
| 八月 | 一 | 一 | 二 | 二 |
| 九月 | 二 | 二 | 一 | 二 |
| 十月 | 二 | 二 | 一 | 三 |
| 十一月 | 二 | 一 | 一 | 二 |
| 十二月 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 計 | 一三 | 一三 | 一八 | 一八 |

| 種別＼月別 | 婚姻 | 離婚 |
|---|---|---|
| 一月 | 三 | 一 |
| 二月 | 三 | 一 |
| 三月 | 六 | 四 |
| 四月 | 五 | 三 |
| 五月 | 五 | 三 |
| 六月 | 三 | 一 |
| 七月 | 二 | 一 |
| 八月 | 三 | 四 |
| 九月 | 四 | 一 |
| 十月 | 九 | 二 |
| 十一月 | 五 | 三 |
| 十二月 | 四 | 一 |
| 計 | 三九 | 五 |

# 十三、議員及町吏員

## (1) 議員

昭和十年三月末現在

| 區別 | 衆議院議員 | 縣會議員 | 町會議員 |
|---|---|---|---|
| 議員定員 | 五六九 | 五四四 | 同上 三 |
| 選擧有權者 | | | |

## (2) 吏員

昭和十年四月末現在

| 區別 | 人員 | 區別 | 人員 | 區別 | 人員 | 區別 | 人員 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 町長 | 一 | 主事 | 三 | 技手 | 四 | 醫師 | 三 |

| 役 | 人員 |
|---|---|
| 助役 | 一 |
| 收入役 | 一 |
| 技師 | 一 |
| 書記 | 四 |
| 雇 | 一 |
| 機關士 | 二 |

## (3) 委員

昭和九年末調

| 區別 | 人員 | 區別 | 人員 | 區別 | 人員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 學務委員 | 一〇 | 水道委員 | 九 | 土木委員 | 二 |

# 十四、役場文書取扱件數

昭和九年度

## (1) 文書收受並ニ發送件數

| 區分 | 庶務 | 土木 | 會計 | 稅務 | 社會 | 社寺 | 學務 | 兵事 | 衛生 | 戶籍 | 寄留 | 勸業 | 水道課 | 紹介所 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 地理 | | | | | | | | | | | | 職業 | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 收受 | 五、五三 | 五八 | 六二 | 六、七九八 | 七四六 | 三三 | 九四四 | 七一 | 四〇二 | 六八二 | 七四五 | 三、八七二 | 一、八八三 | 一、〇九九 | 二、〇六五 | 二、〇五五 | 一、三三 |
| 發送 | 六、九八 | 四五三 | 一三四 | 三、五五二 | 一、四四九 | 三三〇 | 七二一 | 四〇二 | 一、九五 | 二、一〇六 | 六、〇八二 | 一、八八三 | 九六六 | 四九二 | 九三 | 二、〇三五 | 一、三三 |
| 計 | 三、五二〇 | 九七〇 | 二四二 | 一〇、三四九 | 二、一九五 | 四四二 | 一、六七五 | 一、〇八五 | 九六二 | 六、〇八二 | 四、七五五 | 二、〇六五 | 二、四七二 | 二、二五五 | 四、九〇五 | 三、〇三五 | 二、四四 |

## (2) 諸証明、公簿書類閲覧件數

| 種別 | 件數 | 種別 | 件數 |
|---|---|---|---|
| 印鑑證明 | 一、三五五 | 身元證明 | 六五 |
| 戸籍謄本、抄本 | 六、九六六 | 寄留謄本、抄本 | 一九 |
| 工場法ニ關スル證明 | 一六六 | 營業納稅證明 | 三五 |
| 船舶證明 | 八 | 土地家屋ニ關スル證明 | 四 |
| 住所氏名ニ關スル證明 | 四 | 公簿書類閲覧 | 三七 |



# 十五、警備

昭和九年度調

## (1) 警察（桑名警察署管内）

| 年次 | 警察官 | | | | | 派出所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 警部 | 警部補 | 巡査部長 | 巡査 | 計 | |
| 昭和九年 | 一 | 三 | 五 | 四五 | 四五 | 三 |

## (2) 犯罪（桑名警察署管内）

| 年次 | 強盜 | 殺人 | 放火 | 窃盜 | 詐欺恐喝 | 其ノ他ノ刑法犯 | 刑法外諸法令違反 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 昭和九年 | 一 | 四 | 一 | 三九 | 七五 | 六五 | 七 | 一、五〇一 |

## (3) 火災

| 年次 | 出火度數 | | | | 延焼度數 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 放火 | 失火 | 原因不詳 | 計 | 全焼 | 半焼 | 直消止 | 計 |
| 昭和九年 | 一 | 二 | 一 | 二 | 一 | 一 | 一 | 二 |

## (4) 消防

| 組數 | 部數 | 喞筒 | | | 組員 | | | | 鞴鑓 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 動力 | 蒸氣 | 腕用 | 組頭 | 小頭 | 消防手 | 計 | |
| 一 | 一〇 | 五 | 一 | 八 | 一 | 三 | 三〇 | 三四 | 八 |



## 十六、主ナル官公署事務所　町内及附近

| 名稱 | 位置 | 名稱 | 位置 |
|---|---|---|---|
| 桑名郡産業教化團体事務所 | 西桑名町桑名 | 四日市區裁判所桑名出張所 | 桑名町三之丸 |
| 桑名工區事務所 | 仝 | 三重縣獣物檢査所桑名出張所 | 西桑名町桑名 |
| 桑名郡農會 | 仝 | 帝室林野管理局桑名貯木場 | 桑名町三之丸 |
| 桑名警察署 | 仝 | 桑名町職業紹介所 | 桑名町京町 |
| 桑名郵便局 | 桑名町京町 | 内務省名古屋土木出張所木曾川工場 | 西桑名町桑名 |
| 桑名町役場 | 仝 | 名古屋地方專賣局桑名煙草販賣所 | 仝 |
| 桑名税務署 | 桑名町外堀 | 桑名中學校 | 西桑名町東方 |
| 鹽業取締所桑名支所 | 四桑名町桑名 | 桑名高等女學校 | 桑名町吉ノ丸 |
| 三重縣桑名貯務出張所 | 仝 | | |

# 第二章　財政

## 一、町費歳入調

昭和十年四月一日調

| 年度＼種別 | 地租附加税 | 特別地税附加税 | 營業收益税附加税 | 鑛業税附加税 | 家屋税附加税 | 縣營業税附加税 | 雜種税附加税 | 特別戸數割 | 町税合計 | 税外收入 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 昭和八年 | 四、三三三円 | 二六円 | 一〇、九三円 | 九〇円 | 一四、一〇一円 | 五、四九二円 | 三、八七〇円 | 六四、四七〇円 | 一三一、六七〇円 | 一三、八九一円 | 一四四、一七一円 |
| 昭和九年 | 四、〇四三 | 二四 | 一一、三四五 | 九〇 | 一四、三四四 | 五、二四七 | 三、四〇一 | 六四、五三三 | 一三七、六三五 | 一四九、〇一〇 | 二八六、六三五 |
| 昭和十年 | 四、二三五 | 二九 | 一三、七六四 | 三六 | 一四、〇四〇 | 五、〇三三 | 三、九五〇 | 六四、六四四 | 一四一、四九一 | 一三八、九〇九 | 二七一、四〇〇 |

## 二、町費歳出調

仝

| 年次＼種別 | 神社費 | 會議費 | 役場費 | 土木費 | 教育費 | 衛生ニ關スル費 | 勸業統計費 | 救助費 | 社會事業費 | 警備費 | 其ノ他ノ費用 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 昭和八年 | 三三円 | 三四四円 | 四、〇六七円 | 三、三三三円 | 一〇六、〇六八円 | 二、〇〇七円 | 一、一六五円 | 四、三三六円 | 三、四〇三円 | 四、四六三円 | 七、〇四三円 | 二四、一七三円 |
| 昭和九年 | 八三 | 三九四 | 四、一〇三 | 四、六七七 | 一〇四、三五 | 二、三三 | 一、四六八 | 四、四三三 | 三、〇六九 | 四、七四一 | 九、三五〇 | 二六六、六三五 |
| 昭和十年 | 一八三 | 一、三三四 | 四、六九六 | 三、八三七 | 一〇七、八二一 | 二、〇三八 | 二、〇六八 | 四、七三一 | 三、四三三 | 七、六六一 | 五、四四七 | 二三二、四〇〇 |



## 三、昭和十年度桑名町歳入歳出豫算

仝

歳入豫算

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---|---|---|---|
| 一、財産收入 | 三、八三三円 | 九、寄附金 | 七、〇〇〇円 |

| 歲出豫算 | | | |
|---|---|---|---|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 二、使用料及手數料 | 一、〇八四 五 | 一〇、繰入金 | 五五五 |
| 三、下賜金 | | 一一、財産賣拂代金 | 三〇、九〇〇 |
| 四、交付金 | 九、三六六 | 一二、繰越金 | 五、九〇五 |
| 五、國庫下渡金 | 三、〇八三 | 一三、雜收入 | 五、八一四 |
| 六、國庫補助金 | 三、〇八三 | 一四、町税 | 一四、九一一 |
| 七、縣補助金 | 四、七五 | 歲入合計 | 三三、四〇〇 |
| 八、奬勵金 | 四三〇 | | |
| 一、神社費 | 一、五四四 | 一二、統計費 | 三、四三 |
| 二、會議費 | 一、三四四 | 一三、救助費 | 七、六五一 |
| 三、役場費 | 四、〇六九 | 一四、社會事業費 | 三、四三 |
| 四、土木費 | 四、四二三 | 一五、警備費 | 七、六五一 |
| 五、教育費 | 一〇、一六六 | 一六、基本財産造成費 | 一、三四四 |
| 六、學務費 | 一、三二 | 一七、財産費 | 九六三 |
| 七、傳染病豫防費 | 八三 | 一八、諸税 | 一、三二 |
| 八、傳染病院費 | 四、一四一 | 一九、公金取扱費 | 八六六 |
| 九、衛生費 | 六、〇一三 | 二〇、選擧費 | 一四三 |
| 一〇、公園費 | 五五二 | 二一、雜支出費 | 五五二 |
| 二、勸業費 | 一、三五〇 | 三、豫備費 | 一、三〇〇 |
| 歲出臨時部 | | 合計 | 三〇〇、四四五 |
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |

| | |
|---|---|
| 一、土木費 | 三、四〇〇円 |
| 二、小學校費繕費 | 二、八九九 |
| 三、納稅奬勵費 | 一九〇 |
| 四、積立金 | 三九 |
| 五、基本財産充用積戻費 | 一、九四一 |
| 六、雜附金 | 三、三〇〇 |
| 七、補助費 | 一〇、〇四五円 |
| 八、表彰費 | 二〇 |
| 九、繰入金 | 五、一六八 |
| 一〇、都市計劃調査費 | 三〇〇 |
| 合計 | 二、九五五 |
| 總計 | 一三、一〇〇 |

## 昭和十年度水道費歳入歳出豫算

歳入

| 科目 | 金額 |
|---|---|
| 一、使用料及手數料 | 四、一七〇円 |
| 五、雜收入 | 四五円 |



| | |
|---|---|
| 二、給水工費收入 | 三、三九九 |
| 三、補助金 | 一、〇〇〇 |
| 四、繰入金 | 五、一六八 |
| 六、繰越金 | 一 |
| 合計 | 五、一六九 |

歳出經常部

| 科目 | 金額 |
|---|---|
| 一、事務費 | 一〇、三〇一円 |
| 二、維持費 | 七、一三六 |
| 三、水質試驗費 | 四五五 |
| 四、給水工事費 | 三、〇〇〇 |
| 五、雜支出 | 五円 |
| 六、豫備費 | 三〇〇 |
| 合計 | 三、一五一 |

臨時部

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---|---|---|---|
| 一、基本財産積立費 | 九、三一円 | 臨時部計 | 四、三七円 |
| 二、公債費 | 三、二六 | 歳出總計 | 三、六四 |

## 四、税金負擔額調

昭和九年度分

| 税種 | 國税 | 縣税 | 町税 | 合計 | 一戸當住 | 一人當住 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 税額 | 四三、三三円 | 二九、四三円 | 二四、九四二円 | 七六、六三、三円 | 三九、四円 | 三、六九円 |

## 五、町税徴收高並最高最低及平均額

仝

| 税目 | 徴收高 | 納税人員 | 納税者中最高納税額 | 仝上最低納税額 | 納税者一人當平均納税額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 地租附加税 | 四、〇四一、六六円 | 三、四三四 | 一三四、〇一円 | 一、〇一円 | 一、七円 |
| 特別地租附加税 | 二九、二三 | 二〇九 | 二、〇三 | 一、〇一 | 一、七 |
| 營業收益税附加税 | 二六、七九、六四 | 六一 | 四六、二三 | 五、四〇 | 二四、六六 |
| 鑛業税附加税 | — | — | — | — | — |
| 家屋税附加税 | 一四、四八、六三 | 三、三三 | 八三、〇六 | 一、〇六 | 四、〇六 |
| 縣税營業税附加税 | 四、九六、二一 | 一、六九 | 四一、六六 | 一、六六 | 二、九九 |
| 縣税雜種税附加税 | 三六、九四、六六 | 六、八七 | 六八、四四 | 一、九六 | 五、六七 |
| 特別戸數割 | 六四、三四、〇六 | 五、八七 | 八、六四、三六 | 一、一〇 | 一〇、四四 |

## 六、國税種別

昭和九年度

| 税目 | 納税額 | 税目 | 納税額 |
|---|---|---|---|
| 地租 | 二、五五五、七四円 | 酒造税 | 一、五三三、二六円 |
| 清涼飲料税 | 六二、五六 | 酒精及酒精含有飲料税 | 一四、四四 |
| 所得税 | 一四、〇六六、六六 | 資本利子税 | 四、八二、七四 |
| 營業收益税 | 三五、六一、三一 | 鑛業税 | — |
| 相續税 | 一五、三四〇、七五 | 總額 | 四三、三五、三三 |

## 七、縣税種別

| 税目 | 納税額 | 税目 | 納税額 |
|---|---|---|---|
| 地租附加税 | 一五、六三〇、七四円 | 鑛業税附加税 | 一円 |
| 特別地税 | 四六〇、七四 | 營業税 | 五、六三、三一 |

| 營業收益税附加税 | 一六、〇六六、五六 | 雜種税 | 四四、一四一、一五 |
|---|---|---|---|
| 所得税附加税 | 四、一六六、一四 | 都市計畫特別税 | 一、一六六、八六 |
| 家屋税 | 六、九六、一六 | 總計 | 一五、四四一、五五 |

# 第三章　町有財産

昭和十年二月一日現在

## 一、土地

| 種別 | 反別又ハ坪數 | 種別 | 反別又ハ坪數 |
|---|---|---|---|
| 町役場敷地 | 貳百五拾貳坪六合貳勺 | 江場地内田 | 四畝壹歩 |
| 第一尋常高等小學校敷地 | 參千八百貳拾九坪貳合四勺 | 柳原地内原野 | 壹反六畝貳歩 |
| 第二尋常高等小學校敷地 | 參千八百七坪 | 火葬場敷地 | 四百拾九坪 |
| 第三尋常高等小學校敷地 | 壹千九百六拾九坪五合 | 畜水道用地 | 四百拾四坪 |

## 二、建物

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 第四尋常高等小學校敷地 | 貳千六百壹拾七坪參合壹勺 | 赤須賀地內 | 紀念碑敷地 | 八拾五坪 |
| 第五尋常高等小學校敷地 | 貳千貳百七拾六坪 | 四桑名町地內 | 田 | 四畝四歩 |
| 舊第四尋常高等小學校敷地 | 壹千七百八拾壹坪 | 新屋敷地內 | 原 野 | 六畝拾歩 |
| 町役場出張所敷地 | 百四拾貳坪 | 伊賀町地內 | 原 野 | 四畝拾五歩 |
| 公 園 敷 地 | 壹千六百八拾五坪 | 外堀柵原伊賀町地內堤立地 | | 壹千百貳拾八坪 |
| 幼 稚 園 敷 地 | 七百貳拾參坪 | 元騎隊區司令部 敷 地 | | 參百六拾坪七合六勺 |
| 南 幼 稚 園 敷 地 | 四百六拾九坪九合九勺六才 | 西桑名町地內 | 畑 | 壹反貳畝九歩 |
| 傳 染 病 院 敷 地 | 七百參拾壹坪八合五勺 | 上水道配送水線路用地 | | 九百貳拾貳坪四合壹勺 |
| 元 警 察 署 敷 地 | 貳百參拾四坪四合 | 上水道水源地用地 | | 百四拾九坪七合八勺 |
| 新屋敷地內 田 | 壹畝歩 | 上水道淨水場用地 | | 參千百五拾四坪〇參勺 |



| 種別 | 建坪 | 種別 | 建坪 |
|---|---|---|---|
| 町役場建物 | 百參拾坪七合六勺 | 公園番人詰所 | 六坪四合貳勺 |
| 町役場出張所建物 | 貳拾五坪 | 幼稚園建物 | 百八拾貳坪貳合九勺貳 |
| 簡易診療所出張所建物 | 參拾五坪 | 上水道水源地建物 | 四拾七坪五合 |
| 第一尋常高等小學校建物 | 壹千四拾六坪〇八勺 | 上水道淨水地建物 | 貳拾八坪五合八勺參 |
| 第二尋常高等小學校建物 | 壹千百拾貳坪壹合八勺 | 傳染病院建物 | 貳百貳拾坪七合參勺 |
| 第三尋常高等小學校建物 | 八百六拾壹坪〇八勺七五 | 簡易診療所及水道用井物 | 九拾壹坪 |
| 第四尋常高等小學校建物 | 四百五拾壹坪五合 | 吉之丸地內物置 | 五坪 |
| 第五尋常高等小學校建物 | 五百八拾七坪 | 排水喞筒場 | 七坪五合 |
| 實業女學校建物 | 百七拾四坪六合壹勺 | 消防喞筒納庫 | 參拾貳坪五合 |
| 文武館建物 | 五拾七坪參合 | | |

| 有價證券及預金 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 種別 | 有價證券 | | | | | | | 預金 |
| | 五分利公債 | 四分利公債 | 三重縣債 | 勸業債券 | 農工債券 | 滿鐵債券 | | |
| 町基本財產 | | | | | | | | 九千五百貳拾壹圓四錢參厘 |
| 貝塚奬學基金 | 貳萬圓 | | | | 壹千圓 | | | 九百六拾九圓貳拾參錢 |
| 伊藤特別基本財產 | | | | | 七千圓 | 壹萬五千圓 | | 壹千六百六拾圓拾四錢 |
| 小學校基本財產 | | | | | | | | 八百九拾壹圓四錢七厘 |
| 衛生基金 | 壹千圓 | 壹千圓 | | | | | | 貳百四拾貳圓五拾錢 |
| 罹災救助資金 | 五千圓 | 壹千圓 | 百六拾圓 | | 壹萬參千圓 | | | 貳千四百九拾七圓八拾錢壹厘 |
| 社會事業基金 | 貳千圓 | | | | 壹千圓 | | | 壹千七百六拾八圓八拾參錢 |
| 青年會補助基金 | | 參千圓 | | | | | | |
| 消防組費用基金 | | 貳千圓 | | | | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 小學校改築積立金 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 九百八拾圓 | | | | | 四千參百拾八圓七拾八錢八厘 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

貸付金　桑名町基本財產

負債　桑名町債　拾九萬六千八百貳拾壹圓八拾貳錢

桑名町基本財產充用額　五萬貳千九百七拾八圓五拾錢

# 第四章　交通

## 一、道路

昭和九年十二月末日現在

| 道路種類 | 路線數 | 路線延長 | 道路延長 | 橋梁 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 橋數 | 延長 | |
| 國道 | 一 | 八、九八米 | 八、九六米 | 三 | 四二、〇米 | |
| 府縣道 | 六 | 七〇二、三 | 七〇四、四〇 | 七 | 四七、八三 | 重用路線延長　三、四二、七米 |
| 町村道 | 五三〇 | 八七、一六六、〇〇 | 八六、九九、〇〇 | 五六 | 四三七 | 重用路線延長　七〇九 |

## 二、著名ナル橋梁

昭和九年十二月末日現在

| 路線名 | 橋梁名 | 位置 | 橋梁全長 | 有効幅員 |
|---|---|---|---|---|
| 國道一號線 | 住吉橋 | 住吉町船馬町 | 二五・四米 | 四・〇米 |
| 仝 | 七ツ屋橋 | 鍛冶町新 | 七・六 | 四・〇米 |
| 仝 | 泡洲橋 | 傳馬屋鍋町 | 七・〇 | 六・四〇 |
| 縣道岐阜線 | 旭橋 | 今一色寺町相生町 | 八・三 | 九・一〇 |
| 縣桑名町道停車場線 | 京橋 | 今一色寺町京 | 一六・一 | 四・〇〇 |
| 仝 | 運橋 | 寺町筋桑名西桑名町境 | 四・三 | 四・〇〇 |
| 町道玉重線 | 玉重橋 | 太一丸船馬町 | 二五・六 | 四・〇米 |
| 仝下街道線 | 北大手橋 | 江川口三之丸町 | 二五・一 | 三・〇 |
| 仝 | 長吾橋 | 内堀外 | 四・九 | 四・〇 |
| 町鎭國神社線道 | 中橋 | 片三之丸町 | 二〇・二 | 三・〇 |
| 仝 | 扇橋 | 三之丸吉之丸 | 二八・八 | 三・〇 |
| 仝 | 九華橋 | 吉之丸 | 六・〇 | 四・〇 |

| 路線名 | 橋梁名 | 位置 | 橋梁全長 | 有効幅員 |
|---|---|---|---|---|
| 縣道岐阜線 | 北濱橋 | 堤原西桑名町界 | 四・九 | 五・七 |
| 仝桑名彦根線 | 米橋 | 西川原 | 二・八 | 四・五〇 |
| 仝大泉原桑名停車場線 | 三ツ矢橋 | 淺水川車 | 三・六 | 八・一〇 |
| 仝木曾桑名線 | 南大手橋 | 三之丸東町 | 八・〇 | 五・五〇 |
| 町柳原神社明道線 | 港橋 | 赤須賀 | 一〇・九 | 四・六五 |
| 仝第一赤須賀線 | 柳原橋 | 伊賀柳原町 | 五・一 | 五・九七 |
| 仝吉津屋一號線 | 吉津屋橋 | 吉津屋町寺町筋桑名 | 四・五 | 四・三五 |
| 仝鍛冶橋線 | 鍛冶橋 | 鍛冶町西桑名町境 | 三・一 | 三・一五 |
| 仝一色線 | 新橋 | 北鍋屋町西一色町 | 七・三 | 三・四〇 |
| 仝傳馬線 | 傳馬橋 | 傳馬町掛樋 | 一三・五 | 三・二五 |
| 仝釜屋瀨古線 | 筧橋 | 掛樋町川井 | 三・五 | 四・〇 |
| 仝立坂神社線 | 立坂橋 | 淺川八幡瀨古 | 三・一 | 四・六三 |

| | 自働車 | 自轉車 | 馬車 |
|---|---|---|---|
| 乘用 | 貨積用 | 自働 | 通常乘用 | 貨積用 |
| 三 | 八 | 三五 | 三、五八〇 | 一 | 六 |
| 人力車 | 牛車 | 貨車 | 西洋型船 | 日本型船 | 小型船 |
| 一、三五五 | 一四〇 | 一 | 一五三 |

## 四、鐵道

昭和十年四月一日現在

| 鐵道名 | 本町地内停車場 | 本町地内線路延長 | 一ヶ年乘降人員 乘車人員 | 降車人員 | 一ヶ年貨物取扱噸數 到着 | 發送 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 關西本線 | 一 | 一、一〇〇米 | 九五〇、五三二 | 九五一、三三〇 | 三五、八三四 | 三五、五九六 | 桑名驛、益生驛 |
| 伊勢電氣鐵道 | 一 | 一、一〇〇 | 三七、一八六 | 三七、四八八 | 二、一〇二 | 二、三九 | |
| 北勢鐵道 | | 一、三〇〇 | 三四、三八 | 三四、〇四七 | 六、〇四四 | 一、五四四 | 桑名町驛、馬道驛 |

| 桑名電軌 | 發老鐵道 |
|---|---|
| 一 | 一 |
| 三、 | 三五、 |
| 一八四、五六八 | 一九五、九二三 |
| 五八、八四〇 | 五八、八四〇 |
| 三〇 | 一 |
| 一 | 一 |

## 五、郵便電話

昭和九年末日現在

| | 郵便局 | 郵便局 | 公衆電話 | 切手賣捌所 | 郵便函 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 一 | 三 | 四 | 一五 |

| | 郵便物 | | | | 小包郵便 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 引受及配達 | 普通 | 書留及價格表記 | 集金郵便 | 計 | 引受及配達 | 普通 | 書留及價格表記 | 計 | 一日平均 |
| 引受 | 二、五五二、〇五八 | 二四、一五 | 八五六 | 二、六八、〇六六 | 七、一三 | 三、四五一 | 四、六八 | 七、一五 | 四九 |
| 配達 | 三、六八、三二 | 五四、三五 | 三、八四五 | 三、三六、四四八 | 八、八四〇 | 三六、四四〇 | 八、六六 | 三五、四四〇 | 六六 |

| 電報發着數 | | 電話加入者數 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 內地發信 | 內地着信 | 外國發信 | 外國着信 | 單獨 | 共同線 | 連接 | 無料 | 計 |
| 三、六五五 | 三、〇六八 | 三六 | 三六 | 八二 | 一 | 九 | 九 | 八九 |

# 第五章 產業

## (一) 農業

昭和九年度

### (1) 農業經營狀態

| 種別 | 戶數 | 耕地反別 | | | 一戶當リ耕地 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 田 | 畑 | | |
| 自作農 | 四四 | 一、四四反 | 一、六〇反 | | 九、七反 |

### (2) 米

| 年次 | 作付反別 | 收穫高 | 反當リ收穫高 |
|---|---|---|---|
| 自作兼小作 | 六三 | 一、六一石 | 一、〇一石 |
| 小作農 | 三三 | 一、三五 | 一、三五 |
| 計 | 一三 | 一、三〇 | 一、〇四 |
| 昭和七年 | 一、六三反 | 三、七四石 | 二、五五石 |
| 昭和八年 | 一、五一 | 四、一四 | 二、七三 |
| 昭和九年 | 一、五〇 | 三、四一 | 二、四一 |

### (3) 麥

| 年次 | 作付反別 | 收穫高 | 反當リ收穫高 |
|---|---|---|---|
| 昭和七年度 | 四六反 | 六六石 | 一、〇〇石 |
| 昭和八年度 | 四〇 | 五五 | 一、三〇 |

昭和九年度

(4) 園藝農產物果實

| 品種 | 樹數 | 收穫高 | 價格 | 單價 |
|---|---|---|---|---|
| 密柑 | 二六九本 | 五三貫 | 一六円 | 一五錢 |
| 梅 | | | | |

(5) 蔬菜花卉及食用農產物

| 品種 | 作付反別 | 收穫高 | 價格 | 一反歩收穫高 | 單價 |
|---|---|---|---|---|---|
| エンドウ | 六 | 六五貫 | 七四円 | 一一六〇合 | 一一三〇錢 |
| 蠶豆 | 六九 | 六五 | 六七 | 一〇〇〇 | 九〇 |
| 大根 | 六 | 九三五貫 | 九七 | 九六〇貫 | 一〇 |
| 生姜 | 七 | 二九三〇 | 四九 | 四三〇 | 一六 |
| 蕪菁 | 三 | 九三〇 | 一三五 | 三〇〇 | 三三 |



| 品種 | 作付反別 | 收穫高 | 價格 | 一反歩收穫高 | 單價 |
|---|---|---|---|---|---|
| タマネギ | 三 | 六〇〇 | 一三五 | 二〇〇 | 三三 |
| サトイモ | 九 | 五、三五〇 | 一、二五 | 六三〇 | 三三 |
| 慈 | 六 | 五〇〇〇 | 六五 | 八三〇 | 三 |
| キャベージ | 三 | 二、四〇〇 | 一九五 | 八〇〇 | 八 |
| 漬菜 | 三 | 九、六〇〇 | 五六 | 八〇〇 | 六 |
| 胡瓜 | 七 | 六、八〇〇 | 八六 | 一、〇〇〇 | 三 |
| 南瓜 | 六 | 五、六〇〇 | 五六七 | 九〇〇 | 一〇 |
| 西瓜 | 一 | 五五 | 一七 | 四五〇 | 一〇 |
| 茄子 | 八 | 六、三〇〇 | 四九 | 八〇〇 | 八 |
| トマト | 一三 | 二、二〇〇 | 一九〇 | 九〇〇合 | 一七 |
| 大豆 | 五 | 六〇 | 一〇八 | 一二〇〇 | 一五〇〇 |
| 小豆 | 一 | 一 | 八 | 八〇〇 | 一〇〇〇 |
| トウモロコシ | 三 | 三 | 二〇 | 一五〇 | 一〇〇〇 |
| 甘藷 | 六 | 二、九〇〇 | 二九八 | 四九〇 | 一〇 |

| 品種 | 作付反別 | 田 | 畑 | 計 | 收穫高 | 田 | 畑 | 計 | 價格 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 紫雲英 | 二六反 | | | 二六反 | | | | 五、六〇〇貫 | 一、〇六〇円 |
| 青刈大豆 | | 一 | 一 | | | 一 | 一 | | |

## (6) 綠肥用作物

| 品種 | 作付反別 | 收穫高 | 價格 |
|---|---|---|---|
| 馬鈴薯 | 六六反三 | 九六〇貫 | 四、八〇一円 |
| 菜種 | | 四〇〇貫 | 一四〇〇円 |

## (7) 蠶

| 年次 | 桑園 反別 | 春蠶 飼育戶數 | 春蠶 掃立數量 | 春蠶 收繭量 | 春蠶 價格 | 夏秋蠶 飼育戶數 | 夏秋蠶 掃立數量 | 夏秋蠶 收繭量 | 夏秋蠶 價格 | 收繭量 | 價格 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 昭和七年 | 二六反 | 二七戶 | 一、八〇〇グラム | 一、三四〇貫 | 三、三六〇円 | 二七戶 | 二、二〇〇 | 一、一〇〇貫 | 四、六六〇 | 二、三四〇 | 七、九〇〇円 |

## (8) 家禽 (イ) 雞

| 年次 | 飼育戶數 十羽未滿 | 飼育戶數 十羽以上五十羽未滿 | 飼育戶數 五十羽以上 | 飼育戶數 計 | 成禽 雌 羽數 | 成禽 雌 價格 | 成禽 雄 羽數 | 成禽 雄 價格 | 雛 羽數 | 雛 價格 | 產卵 羽數 | 產卵 價格 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 昭和八年 | 三三 | 六六 | 一、九五 | 一、一〇 | 九、三〇 | 三、四五 | 三〇 | 三、四九 | 一、〇四 | 三、七一 | 三、〇四 | 九、四〇 |
| 昭和九年 | 二七 | 六六 | 二、三五 | 一、六四 | 四、三九 | 三、四五 | 二八 | 三、四〇 | 一、〇三 | 三、七一 | 三、〇二 | 九、四〇 |
| 昭和七年 | 二〇 | 一五 | 一、五六 | 一、三三 | 六、三九〇 | 二、八三一 | 一二〇 | 一、二〇 | 八五 | 三、五八 | 七六六、八〇〇 | 一、三〇四 |
| 昭和八年 | 八 | 三 | 三 | 三 | 四、二九三 | 三、八九九 | 二五 | 二五 | 九五 | 一、八四 | 五三、一五〇 | 一、三〇四 |
| 昭和九年 | 四〇 | 三五 | 一〇 | 一三 | 四、六四〇 | 四、三九三 | 一四〇 | 一六 | 一六 | 二、二四 | 八四〇、八一〇 | 一、六八一 |

## (ロ) 鷄

(9) 家畜　昭和九年十二月調

| 年次 | 飼育戸数 十羽未満 | 十羽以上五十羽未満 | 五十羽以上 | 計 | 成禽 雌 羽数 | 雌 価格 | 雄 羽数 | 雄 価格 | 雛 羽数 | 雛 価格 | 産卵 個数 | 産卵 価格 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 昭和七年 | 二 | 二 | 一 | 三 | 四 | 一、三〇円 | 三 | 一、〇〇円 | 一 | 一円 | 八、四〇〇 | 一、四〇〇円 |
| 昭和八年 | 一 | 二 | 一 | 三 | 五 | 一、三〇円 | 三 | 一、〇〇円 | 一 | 一円 | 二、八〇〇 | 四、二〇〇円 |
| 昭和九年 | 二 | 二 | 一 | 三 | 七 | 一、三〇円 | 一 | 一、〇〇円 | 一 | 一円 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇円 |

(10) 牛乳　昭和九年度

| | 牛 | 馬 | 豚 | 兎 | 山羊 |
|---|---|---|---|---|---|
| 飼育戸数 | 四 | 五 | 一〇 | 二 | 一 |
| 頭数 | 五 | 一〇 | 二〇 | 三 | 一 |
| 飼育戸数 | | | | | |
| 頭数 | | | | | |
| 飼育戸数 | | | | | |
| 頭数 | | | | | |
| 飼育戸数 | | | | | |
| 頭数 | | | | | |



| 搾乳場 | 乳牛 外國種 | 乳牛 雜種 | 乳牛 計 | 搾乳量 | 価格 | 一升平均価格 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 一 | 一 | 二 | 四四石 | 九〇円 | 二〇銭 |

(11) 農産額表　昭和十年一月調

| 米 | 麥類 | 菜種 | 蠶 | 雞 | 蔬菜 | 其他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 四四、四〇〇円 | 五、三〇〇 | 四、八〇〇 | 六、三〇〇 | 三、八〇〇 | 一〇、七〇〇 | 六〇、〇〇〇 | |

## (二) 商工業　昭和九年度

(1) 主要製産物

| 種類 | 數量 | 價格 | 種類 | 數量 | 價格 |
|---|---|---|---|---|---|
| アイロン | 三五、三五〇円 | | 鑄物機械器具 | | 一、〇四五、三〇円 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 及物 | | | | | |
| 鍼力細工 | | | | | |
| 製綿 | | | | | |
| 綿糸 | 四、〇五六 | 四、七四〇 | 四、七四〇 | 漁網 | 三、三六六 |
| 酒類 | | | | 脱脂綿 | 一、四七、四三 |
| 味噌 | 七、四四〇 | 三、三六六 | 三、三六六 | 綿糸 | 六、四九七 |
| 醤油 | | | | 綿布 | 六、四七〇 |
| 醤油 | 三、三六六 | 五、五五五 | 五、五五五 | 綿布物 | 三、四六六 |
| 麹類 | | | | 紙函 | 七、三七二 |
| 麹 | 五、五五五 | 七、三七二 | 七、三七二 | 紙形 | 七、八六〇 |
| 菓子類 | | | | 製品 | 五、四六八 |
| 菓子 | 七、三七二 | 七、八六〇 | 七、八六〇 | 乳母車 | 四、〇〇〇 |
| 漬物 | | | | 袋 | 一、六九一 |
| 瓦 | 八、〇二九 | 四、六八八 | 四、六八八 | 皮革製品 | 一、三六八 |
| 雨蛤 | | | | 盆 | 一 |
| タオル | | | | 家具細工 | 一 |
| 植物油 | | | | 飾品 | |
| 乾海苔 | | | | | |
| 筆筍長持 | | | | | |
| 竹製品 | | | | | |



## (2) 工場 昭和九年十二月現在

| 工場名 | 位置 | 創立年月 | 主要事業 | 原動力 | 實馬力 |
|---|---|---|---|---|---|
| 株式會社エメチーエメ製作所 | 内堀 | 大正十年十二月 | ベアリング製造 | 五 | 四〇、五 |
| 三河屋鑄物鐵工合資會社 | 南魚町 | 明治二十七年五月 | 鑄造鐵工業 | 二 | 八 |
| 山本商店鑄物部 | 傳馬町 | 大正二年六月 | 鑄鐵及琺瑯鐵器製造 | 三 | 九、五 |
| 山本製網所 | 桑名 | 明治四十一年十月 | 漁網製造 | 四 | 九、〇 |
| 三重琺瑯株式會社 | 江場 | 明治三十四年十月 | 琺瑯鐵器製造 | 九 | 二九 |
| 諸戸タオル合名會社 | 傳馬町 | 明治四十四年六月 | タオル製織 | 四 | 一八 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 東洋紡績株式會社桑名工場 | 三之丸 | 明治三十一年四月 | 綿糸製造 | 二四 | 一九五 |
| 北勢製材合資會社 | 船馬町 | 昭和五年五月 | 木材賃挽 | 二八 | 二五 |
| 丸中製材所 | 三之丸 | 大正十三年十一月 | 製材業 | 三 | 五 |
| 伊藤清六酒造場 | 一色町 | 明治二十二年 | 酒類醸造 | 三 | 八 |
| 富岡鐵工鑄造所 | 紺屋町 | 大正八年五月 | 鑄造業 | 三 | 八 |
| 森酒造工場 | 内堀 | 明治十年五月 | 酒類醸造 | 三 | 一五 |
| 桑名製材合資會社 | 全 | 大正八年四月 | 木材賃挽 | 二 | 五 |
| 市川製網所 | 吉之丸 | 明治四十年八月 | 漁網製造 | 一 | 一 |
| 大塚酒造場 | 三之丸 | 慶應三年一月 | 酒類醸造 | 一 | 二五 |
| 朝日商會製材工場 | 内堀 | 大正七年一月 | 製材及木工賃挽 | 二 | 七五 |
| 合資會社協和鑄造所 | 外堀 | 大正十三年三月 | 鑄造業 | 一 | 五 |
| 鈴木鐵工所 | 三之丸 | 明治十八年六月 | 諸機械製造 | 一 | 三 |
| 諸岡製材所 | 北鍋屋町 | 大正十二年八月 | 製材業 | 一 | 五 |
| 桑原酒類製造所 | 吉之丸 | 明治三十年十月 | 清酒醸造 | 四 | 七五 |





| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 齊藤鉄力細工所 | 江場 | 明治四十年 | 鉄力鐵板細工 | 一 | 三 |
| 加藤輝三商會脱脂綿工場 | 全 | 大正六年七月 | 脱脂綿製造 | 一 | 一 |
| 桑名瓦斯株式會社 | 三之丸 | 大正三年八月 | 石炭瓦斯製造 | 四 | 五 |
| 佐藤信之助醤油醸造場 | 船馬町 | 明治二十五年四月 | 醤油、味噌醸造 | 二 | 三 |
| 十一屋酒造場 | 江場 | 大正五年十月 | 酒類醸造 | 一 | 五 |
| 水谷製材合資會社 | 清水町 | 大正九年六月 | 製材業 | 五 | 三 |
| 鶴岡鑄造所 | 江場 | 昭和六年一月 | 鑄造業 | 二 | 三 |
| 丹村鑄造所 | 矢田 | 昭和五年四月 | 全 | 一 | 三 |
| 伊藤穂明鑄造所 | 大福 | 大正八年九月 | 全 | 二 | 五 |
| 岩永友三郎 | 全 | 大正六年六月 | 全 | 三 | 四 |
| 大須賀鑄造所 | 江場 | 大正十五年六月 | 全 | 二 | 五 |
| 伊藤増次郎鑄造所 | 繁松新田 | 大正八年一月 | 全 | 一 | 七五 |
| 中山鑄造所 | 江場 | 大正二年一月 | 全 | 一 | 一〇 |
| 竹中鑄造所 | 全 | 大正九年十月 | 全 | 三 | 八 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 合資會社丸吉製綿所 | 矢田 | 明治三十五年六月 | 製綿業 | 一 | 四 |
| 水谷昇工場 | 江場 | 昭和二年七月 | 自轉車番號札製造 | 一 | 四 |
| 萬屋酒造所 | 本願寺 | 明治卅三年十二月 | 清酒醸造 | 一 | 五 |
| 近藤製油所 | 矢田 | 明治二十九年四月 | 植物油製造 | 一 | 五 |
| 諸戸形紙製造所 | 大福 | 明治四十三年八月 | 染物用形紙製造 | 一 | 一 |
| 丸七タオル工場 | 仝 | 大正八年九月 | タオル製織 | 一 | 三 |
| 早川タオル工場 | 矢田 | 大正十二年八月 | 仝 | 一 | 一 |
| 伊藤邦次郎鑄造所 | 本願寺 | 大正二年一月 | 鑄造業 | 三 | 一〇 |
| 東谷桑切鋏製造所 | 矢田 | 大正十三年七月 | 桑切鋏製造 | 三 | 一〇 |
| 田中鍍金工業所 | 紺屋町 | 昭和八年五月 | 鍍金鬪負 | 一 | 七 |
| 二井醬油工場 | 今一色片町 | 明治四十二年九月 | 醬油製造業 | 一 | 一〇 |
| 田中鑄造所 | 鋼屋町 | 昭和八年一月 | 鑄造業 | 三 | 三 |
| 伊藤鐵工所 | 仝 | 大正二年八月 | 諸機械修理 | 一 | 一 |
| 阿部鐵工所 | 江場 | 昭和四年六月 | ベアリング仕上 | 二 | 四 |





(ヰ)會社　昭和十年一月現在

| 名稱 | 所在地 | 主タル業務 | 出資額又ハ資本金 | 設立年月 |
|---|---|---|---|---|
| 諸戸タオル合名會社 | 太一丸 | タオル製造 | 九拾萬圓 | 明治四十四年六月 |
| 合名會社松田材木店 | 外堀 | 材木販賣 | 六萬三千圓 | 大正八年一月 |
| 合名會社佐々部材木店 | 太一丸 | 仝 | 拾萬圓 | 大正九年一月 |
| 伊藤紀合名會社 | 船馬町 | 不動産及有價証券ノ利用 | 百萬圓 | 大正十一年一月 |
| 合名會社絲利商店 | 三崎通 | 綿糸販賣 | 參萬圓 | 昭和二年二月 |
| 合名會社桑名醬油製造所 | 吉之丸 | 醬油醸造販賣 | 壹萬圓 | 明治四十二年七月 |
| 合資會社いづみや藥店 | 鋼屋町 | 賣藥製造販賣 | 壹千圓 | 大正四年八月 |
| 桑名製材合資會社 | 內堀 | 製材 | 壹萬五千圓 | 大正八年四月 |
| 合資會社吉川佐一商店 | 川口町 | 酒類販賣 | 參萬圓 | 大正十三年一月 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 合資會社 | 栗田商店 | 田町 | 諸油販賣 | 拾萬圓 | 大正十五年二月 |
| 水谷製材合資會社 | | 清水町 | 製材 | 六千圓 | 大正十五年六月 |
| 三重珉鄙株式會社 | | 江場 | 珉鄙鐵器製造 | 參拾五萬圓 | 明治四十年六月 |
| 桑名瓦斯株式會社 | | 三之丸 | 石炭瓦斯製造販賣 | 貳拾萬圓 | 大正三年三月 |
| 北勢倉庫株式會社 | | 相生町 | 倉庫業 | 拾萬圓 | 大正九年六月 |
| 桑名土地建物株式會社 | | 田町 | 土地建物賃貸 | 參拾萬圓 | 大正十一年四月 |
| 中央度量衡株式會社 | | 一色町 | 度量衡器製作 | 參拾萬圓 | 大正十二年四月 |
| 桑名電軌株式會社 | | 傳馬町 | 軌道ニ依ル運輸 | 貳拾萬圓 | 大正十五年九月 |
| 株式會社旭ビルディング | | 桑名 | 店舗ノ賃貸 | 六萬圓 | 昭和二年二月 |
| 松平殖産株式會社 | | 相生町 | 海陸物産委託販賣 | 八萬圓 | 昭和七年十一月 |
| 株式會社九華會古物市場 | | 南魚町 | 土地家屋ノ利用 | 參萬圓 | 昭和二年五月 |
| 田中殖産株式會社 | | 新町 | 古物委託販賣 | 壹萬圓 | 昭和二年六月 |
| | | 本町 | 家屋賃貸 | 貳拾萬圓 | 大正十二年四月 |



| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 合資會社 | 塩屋半次郎商店 | 田町 | 酒類販賣 | 五千圓 | 昭和三年五月 |
| 合資會社 | 梶間商店 | 職人町 | 織物販賣 | 壹千圓 | 昭和二年十二月 |
| 三河屋鑄物鐵工合資會社 | | 南魚町 | 鑄造鐵工業 | 貳萬參千圓 | 昭和三年六月 |
| 合資會社 | 魚金商店 | 南魚町 | 海産乾物販賣 | 五千圓 | 大正十二年三月 |
| 合資會社 | 協和鑄造所 | 外堀 | 鑄物製造 | 貳萬壹千圓 | 昭和三年七月 |
| 株式會社 | 日之出市場 | 鍛冶町 | 店舗賃貸 | 貳萬圓 | 昭和六年五月 |
| 株式會社 | 船津屋 | 船馬町 | 料理及旅館業 | 四萬圓 | 昭和五年八月 |
| 北勢製材合資會社 | | 仝 | 木材賣捌 | 五千貳百五拾圓 | 昭和五年五月 |
| 境殖産合名會社 | | 相生町 | 土地利用 | 五萬圓 | 明治四十四年二月 |
| 日本建材合資會社 | | 紺屋町 | 建築材料販賣 | 壹萬圓 | 昭和六年九月 |
| 百足屋合資會社 | | 堤原 | 化粧品、文房具販賣 | 壹千圓 | 昭和八年七月 |
| 合資會社 | 佐藤源治郎商店 | 矢田町 | 砂糖、小麥粉販賣 | 五千圓 | 大正十四年四月 |
| 合資會社 | 加太鑄造所 | 鍋屋町 | 鑄物製造 | 壹千五百圓 | 昭和九年三月 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 合資會社 | 大阪屋商店 | 北魚町 | 荒物雜貨ノ販賣 | 參千圓 | 昭和九年十月 |
| 合資會社 | 平和商會 | 赤須賀 | 石油、酒類雜貨販賣 | 壹萬參千五百圓 | 昭和五年四月 |
| 合資會社 | 朝日商會 | 仝 | 仝 | 四千弍拾五圓 | 昭和五年三月 |
| 合名會社 | 花屋商店 | 紺屋町 | 窯瓶賣買 | 四千圓 | 昭和九年五月 |
| 合資會社 | 丸吉製綿所 | 矢田 | 製綿 | 參萬圓 | 大正七年十月 |
| 三重相互無盡株式會社 | | 本願寺 | 無盡業 | 拾萬圓 | 大正七年二月 |
| 三重乘合自動車株式會社 | | 大福 | 自動車運輸業 | 拾六萬圓 | 昭和三年十二月 |
| 合資會社 | 指竹商店 | 矢田 | 建具製造 | 參千圓 | 昭和五年四月 |
| 合資會社 | 丸桑兩糸商會 | 矢田 | 獵具販賣 | 弍千圓 | 昭和五年十二月 |
| 合名會社 | 伊藤鑄造所 | 本願寺 | 鑄物製造 | 壹萬圓 | 昭和十年一月 |
| 福本合資會社 | | 矢田 | 古綿打直シ | 九百圓 | 昭和八年九月 |
| 合名會社 | 伊藤坍鑄造所 | 鷲松新田 | 鑄物製造 | | 昭和九年二月 |
| 株式會社名古屋銀行桑名支店 | | 京町 | 金融業 | 貳千六拾萬圓 | 明治十五年一月 |



| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 株式會社 | 百五銀行桑名支店 | 仝 | 仝 | 壹千萬圓 | 明治十一年十二月 |
| 株式會社 | 四日市銀行桑名支店 | 仝 | 仝 | 壹千萬圓 | 明治廿八年十一月 |
| 株式會社 | 大垣共立銀行桑名支店 | 三崎通 | 仝 | 四百五拾萬圓 | 明治二十九年三月 |
| 株式會社 | 三重縣農工銀行桑名支店 | 本町 | 仝 | 壹千萬圓 | 明治三十一年三月 |
| 株式會社 | 不動貯金銀行桑名支店 | 宮通 | 仝 | 八百萬圓 | 明治三十三年九月 |

## (4) 金融

昭和九年末日調

| | | 預り金 | 諸貸付 | 貯蓄預金 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 普通貯金 | 掛積貯金 | 定期貯金 |
| 銀 | 一年間 | 五一、二五、四五円 | 三、六一、五五 | 一 | 一 | 九、三五 |
| | 年末現在 | 七、九三、五二 | 五、八三、四七 | 一 | 一 | 五、九二 |
| 內國爲替 | | | | | | |

| 行 | 送金爲替 各地へ向ケタル分 | 送金爲替 各地ヨリ受ケタル分 | 代金取立 割引手形 各地へ向ケタル分 | 代金取立 割引手形 各地ヨリ受ケタル分 | 代金取立 荷付爲替手形 共他 各地へ向ケタル分 | 代金取立 荷付爲替手形 共他 各地ヨリ受ケタル分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 市街信用組合 | 九、六三〇、八六六 | 八、四四二、一九〇 | 一、〇六九、一三五 | 三、六六五、四二一 | 一、七六六、〇六五 | 三、九三五、九三一 |
| 郵便取扱高 | 簡易保險契約 | | 郵便年金契約 | | 郵便貯金 | |
| | 件數 | 金額 | 件數 | 金額 | 受入件數 | 拂戻件數 |
| | 三、八三五 | 三、九六六、〇三五円 | 三、一四〇 | 五、二四〇円 | 六〇、四二一 | 九三、八四八円 |

| 組合名 | 所在地 | 主要業務 | 出資金 | 拂込金 | 積立金 | 組合員數 | 設立許可年月日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 保證責任益生信用利用販賣組合 | 桑名町大字江場 | 信用利用販賣 | 四、一三〇円 | 四、一三〇 | 五、三六六 | 一六六 | 大正三年五月九日 |
| 保證責任西諸戸家信用購買販賣利用組合 | 全太一九六七九番地 | 信用購買販賣利用 | 三、五三〇 | 三、五三〇 | 六、〇四一 | 六九 | 大正二年四月二十四日 |
| 桑名金庫 | 全職人町 | 貯金貸付及購買 | 二四、三五〇 | 二四、〇六六 | 三、七三三 | 二四三 | 大正十四年五月二十五日 |
| 諸戸家信用購買組合 | 全太一九 | 信用購買販賣利用 | 四〇、六三〇 | 四〇、六三〇 | 九、一三三 | 一、一三三 | 大正三年二月十日 |
| 保證責任桑名織物信用販賣購買利用組合 | 全田町十二番屋敷 | | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一 | 二 | 明治四十五年五月二十三日 |

## (6) 商業組合　昭和十年五月調

| 組合名 | 所在地 | 主要業務 | 出資金 | 拂込金 | 積立金 | 組合員數 | 設立許可年月日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北勢乾海苔卸賣商業組合 | 南魚町 | 乾海苔卸賣 | 一〇、三〇〇円 | 五、三〇〇円 | 一 | 一五 | 昭和九年七月二十三日 |
| 赤須賀廻船取引商業組合 | 赤須賀 | 商品ノ共同仕入 | 一六、〇〇〇 | 八、〇〇〇 | 一 | 二六 | 昭和十年二月十四日 |

## (5) 産業組合　昭和九年末日調

## (7) 營業者表（法人營業ヲ除ク）

昭和九年度

| 種別＼業別 | 物販業 | 製造業 | 料理店業 | 請負業 | 運送業 | 貸金付業 | 遊戯場業 | 理髪人業 | 湯屋業 | 旅人宿業 | 芸妓置屋 | 其他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 國稅營業 | 四四 | 四四 | 一五 | 三 | 三 | 一五 | 一 | 一 | 一 | 四 | 一 | 九六 | 一、四九六 |
| 縣稅營業 | 九五 | 四四 | 三五 | 四三 | 四五 | 四四 | 一 | 八 | 三 | 八 | 九 | 三六 | 一、四〇三 |
| 計 | 一、三九 | 二八 | 四五 | 二七 | 三五 | 三 | 九 | 八 | 三 | 三 | 九 | 四五 | 二、四九 |

## (8) 市場

昭和九年度

| 年次 | | 水産物 | 青物 | 古物 | 其他 |
|---|---|---|---|---|---|
| 昭和九年 | 市場 | 三 | 三 | 八 | 三 |
| | 賣買金額 | 四五、八五五 | 三五、四五七 | 一七、四五五 | 三、七五五 |

## (9) 電燈、瓦斯

昭和九年十二月末日調

| | 電燈 | | | | 瓦斯 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 屋内用 | 街燈 | 熱用引用數 | 戸數 | 燈口數 | 蛍數 | 戸數 | 口數 |
| | 六、二六六 | | | 一、二七 | 一、二七 | | 四 | 四 |
| 瓦斯引用戸數 | 街燈 | 計 | 燈火用孔口數 | 熱用孔口數 | 計 | | | |
| | 七四 | 七四 | 一、五三 | 一、三六 | 二、三八 | | | |

## (10) 電動機用途別

昭和九年十二月末日調

| 用途別 | 戸數 | 員數 | 馬力數 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 紡績 | 二 | 二四 | 一、七五五 | |
| 飲料 | 六 | 二 | 四 | |
| 精米 | 三 | 三 | 五 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 鐵工鑄物 | 四 | 六〇 | 六〇〇 |
| 織布 | 三 | 六 | 一〇〇 |
| 揚水 | 三 | 一〇〇 | 三五〇 |
| 印刷 | 三 | 三 | 一一五 |
| 木工 | 三 | 三 | 一五五 |
| 製材 | 三 | 三 | 一六一 |
| 製油 | 一 | 一 | 三〇 |
| 製網 | 三 | 三〇 | 八〇一五 |
| 肥料 | 三 | 三 | 七 |
| 製綿 | 五 | 五 | 八 |
| 加工用 | 八 | 八 | 一三 |
| 製麺 | 五 | 五 | 一七 |
| 珠鄭 | 一 | 九 | 一九 |



| | | | |
|---|---|---|---|
| 製氷 | 二 | 二 | 四〇 |
| 其他 | 三 | 三 | 四一六五 |
| 計 | 三五 | 三〇 | 四一六五 |

## (三)水産

### (1)水産物

昭和十年三月末調

| 種別 | 數量 | 價格 |
|---|---|---|
| 魚 | | |
| イワシ | 八〇〇貫 | 一六円 |
| タヒ | 一一〇 | 六六〇 |
| クロダイ | 二一、四〇〇 | 五、五〇〇 |
| カレヒ、ヒラメ | 一、〇六〇 | 五、三〇一 |

| 類 | | |
|---|---|---|
| 白魚 | ボラ | 一、一〇〇 |
| | コノシロ | 八〇〇 |
| | ウナギ | 一、四二一 |
| | コヒ | 三五 |
| | アユ | 三五 |
| 計 | | 三、三二一 |
| 貝類、ハマグリ | カキ | 四、〇〇〇 |
| | | 三六、〇八〇 |
| | シヂミ、シジミ | 一四、〇三五 |
| 計 | | 五四、〇三五 |
| 其他水産 | エビ | 九一〇貫 |
| | | 四、一一〇 |



| 他ノ動物 | | |
|---|---|---|
| 其他 | | 一〇五五 |
| 計 | | 一、六六五 |
| 水産製造物 | カマボコ、チクワ | 一〇、六〇〇 |
| | ツクダニ | 一一、〇〇〇 |
| | 乾海苔 | 一一、六八一 |
| 計 | | 一五、〇八一 |
| 魚介類罐詰 | 蛤 | 四、五四一 |
| | 白魚 | 一、六四五 |
| | 其他 | 四、三一〇 |
| 計 | | 一〇、三一〇 |

# 第六章　學事

## 一、小學校

昭和十年三月三十一現在

| 學校數 | 敷地 | 教室 | | | 學級數 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 普通 | 特別 | 其他 | |
| 五 | 四、五三 | 九一 | 一七 | 二九 | 九一 |

| 就學兒童 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 性別 | 卒業者 | 修學中 | 計 | 不就學兒童 | 學齢兒童總數 |
| 男 | 三五 | 一八二 | 二一四 | 一六六 | 三一四 |
| 女 | 四四 | 一五三 | 一九七 | 一六六 | 三六三 |

## 二、町立小學校兒童及卒業生

昭和十年三月三十一日現在

| | 尋常 | 高等 | 計 | 尋常卒業 | 高等卒業 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 男 | 一八六 | 三六二 | 二、五四八 | 二六三 | 三五 | 五四八 |
| 女 | 一七二 | 三六八 | 二、五四九 | 二九二 | 三六 | 四二 |



## 三、町立小學校教員數

| 年次 | 正教員 | | 准教員 | | 代用教員 | | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | |
| 昭和五年 | 四一 | 六 | 二 | 一 | 四 | 三 | 八四 |
| 昭和八年 | 五六 | 六 | 二 | 一 | 三 | 三 | 一〇三 |
| 昭和九年 | 五五 | 五 | 二 | 一 | 四 | 三 | 一〇三 |

## 四、幼稚園

昭和十年三月三十一日現在

| 園數 | 兒 | | |
|---|---|---|---|
| | 男 | 女 | 計 |
| 二 | 一〇六 | | 九四 |

## 五、各種學校

昭和十年三月三十一日現在

| 學校種類 | 學校數 | 教員數 | 學級數 | 生徒數 |
|---|---|---|---|---|
| 桑名商工學校 | 一 | 五 | 五 | 一九五 |
| 桑名實業女學校 | 一 | 九 | 四 | 一三三 |
| 桑名實業補習學校 | 一 | 七 | 三 | 一九四 |
| 縣立桑名中學校 | 一 | 三 | 二 | 四五九 |
| 縣立桑名高等女學校 | 一 | 三 | 三 | 五八五 |

## 六、青年訓練所

| 訓練所種類 | 主事及指導員 | 生徒數 | 入所歩合 | 出席歩合 |
|---|---|---|---|---|
| 桑名町青年訓練所 | 一〇 | 一三五 | 四七、五 | 五〇、九 |
| 桑名町南青年訓練所 | 一〇 | 一四九 | 八〇、〇五 | 五五、〇三 |

## 七、教育費關

| 年次 | 經費 | 兒童一人當 | 町歲出百分比 |
|---|---|---|---|
| 大正十年度 | 一三、九一三円 | 三、八円 | 二割三分 |
| 昭和元年度 | 八〇、一九三 | 三、六六 | 三割五分 |
| 昭和九年度 | 九四、三五五 | 三、八五 | 三割三分 |

# 第七章　兵事

## 一、徵集人員

昭和十年四月調

| 年次 | 壯丁總數 | 徵集人員 現役 | 徵集人員 補充 | 徵集人員 計 | 徵集延期 | 徵集免除 | 兵役免除 | 其ノ他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 昭和八年 | 二五二 | 四 | 九五 | 一三五 | 六 | 〇 | 六 | 七年以上所在不明 三<br>二國 四六 |

## 二、徵兵檢査成績

昭和十年四月調

| 年次 | 合格 甲種 | 合格 第一乙種 | 合格 第二乙種 | 合格 計 | 不合格 丙種 | 不合格 丁種 | 不合格 戊種 | 不合格 計 | 合計 | 身長平均 | 体重平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 昭和八年 | 空 | 四〇 | 八五 | 一八九 | 五六 | 空 | 空 | 空 | 空 | 一、六一〇 | 四、七九 |
| 昭和九年 | 六 | 三 | 空 | 二九 | 九 | 空 | 一 | 一 | 三 | 一、六三 | 四、四八 |

昭和九年

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 三五 | 九二 | 一四〇 | 空 | 〇 | 空 | 空 | 空 | 空 | 空 | 空 |

## 三、陸海軍人現員表

昭和十年四月調

| 種別 | 陸軍 | 海軍 | 陸軍 | 海軍 |
|---|---|---|---|---|
| 現役 | 公 | 三 | 將 | 校 |

| 種別 | 陸軍 | 海軍 | 陸軍 | 海軍 |
|---|---|---|---|---|
| 豫備役 | 三六 | 三 | 准士官 | 空 |
| 後備役 | 三四 | 三 | 下士 | 空 |
| 補充兵 | 一四三 | 一 | 兵卒 | 空 |
| 計 | 二一五 | 六 | 計 | 空 |

# 第八章　社寺及教會

## 一、神社

昭和九年度調

| 縣社 | 鎮國守國神社 | 松平定綱公 松平定信公 | 桑名町 吉之丸 | 二、八八八 | 一、三二九 | 有價証券 現金 | 五、三〇〇圓 八二八圓 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 社格 | 神社名 | 祭神 | 鎮座地 | 昭和拾年度算豫 氏子數 | 社有財産 | | |
| 縣社 | 四 | 三 | 二 | 二 | 一 | | |
| 郷社 | | | | | | | |
| 村社 | | | | | | | |
| 無格社 | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 仝 | 桑名神社 | 天津彦根命 | 桑名町 | 二、九四五 | 一、三七 | （有價証券及現金）社有基本財産七五、九九六圓 土地百三十九坪八合 家屋敷地七坪二合 |
| 中臣神社 | | 天久々斯比乃命 | 三崎 | | | |
| 仝 | 立坂神社 | 大日靈貴命 | 桑名町矢田 | 二、六四 | 七三〇 | 有價證券三、五五〇圓 田八畝十四歩 宅地三百五十二坪三合八勺 |
| 郷社 | 神館神社 | 天照皇大神 | 桑名町江場 | 一、四四四 | 四七七 | 有價證券三、八三〇圓 現金一二〇圓 土地四畝十歩 |
| 仝 | 天武天皇社 | 天武天皇 天皇后、高市皇子 | 桑名町鍋屋町 | 一、二四〇 | 四〇〇 | 有價證券三、五七二圓 現金六九圓 土地三九二坪 |
| 仝 | 赤須賀神明社 | 天照大神 宇迦之御魂命 | 桑名町赤須賀 | 一、六九 | 六〇 | 有價證券二、四〇〇圓 現金七四三圓 別途積立金八五圓 |
| 村社 | 北桑名神社 | 建速須佐之男命 大日靈貴尊 | 桑名町堤原 | 一、二八 | 四四 | 有價證券二、四一〇圓 現金三三圓 土地六七坪 |
| 仝 | 八重垣神社 | 須佐之男命 | 桑名町大福 | 三六 | 六六 | 有價證券一四〇圓 郵便貯金四六一圓 銀行預金三四三圓 |



| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 無格社 | 稻荷神社 | | 桑名町新地 | 五四 | 三〇〇 | 積立金一五二圓二三錢 復興債券一一〇圓 現金五〇圓 |

## 二、寺院

昭和九年度調

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 眞宗 | 淨土 | 天龍 | 眞言 | 曹洞 | 臨濟 | 日蓮 | 計 |
| 三六 | 一〇 | 二 | 三 | 四 | 二 | 三 | 四五 |

## 三、教會

昭和九年度調

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 黑住教 | 天理教 | 金光教 | 大成教 | 御嶽教 | 計 |
| 一 | 五五 | 一 | 一 | 一 | 四 |

## 四、基督教

昭和十年三月三十一日現在

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 會堂 | 信徒 | 內國人 | 外國人 | 計 |

布教師

# 第九章　衛生

## 一、傳染病患者

昭和九年十二月末日調

| 性別 | 男女計 |
|---|---|
| 腸チフス | 二 |
| パラチフス | 一四 |
| 赤痢（疫痢ヲ含ム） | 一 |
| 猩紅熱 | 三 |
| 其他 | 一 |
| 計 | 二三 |

## 二、死亡者病類別

昭和九年十二月末日調

| | 男女計 |
|---|---|
| 肺結核 | 四三 |
| 其他結核ノ | 一 |
| 其他傳染病患 | 一 |
| 全身病 | 一 |
| 神經系疾患 | 一 |
| 直行器疾患 | 一 |
| 呼吸器疾患 | 二 |
| 消化器疾患 | 三 |
| 泌尿生殖器疾患 | 一 |
| 産褥及産 | 一 |
| 皮膚及皮下組織疾患 | 一 |
| 骨及運動器疾患 | 一 |
| 畸形 | 一 |
| 乳兒 | 一 |
| 老年 | 六 |
| 外因死 | 一 |
| 不明診斷 | 一 |
| 計 | 四七 |



## 三、汚物掃除

昭和九年十二月末日調

| | 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|---|
| 掃除夫延人員 | 三〇 | 二 | 三 |
| 塵芥搬出量 | 三 | 三 | 五 |
| 公共便所 | 三 | 六 | 六 |
| 厠便所 | 三 | 三 | 三 |
| 小便所 | 四 | 四 | 八 |
| 計 | 一四 | 六 | 二〇 |
| 二、三四八 | 一、四三五 | 六 | 一〇 |

## 四、醫療機關及製藥賣藥

昭和十年三月末日調

| | | | |
|---|---|---|---|
| 醫師 | 二九 | 製藥業者 | 一 |
| 齒科醫師 | 一九 | 賣藥業者 | 一 |
| 藥劑師 | 一八 | 賣藥商賣者 | 一四 |
| 産婆 | 二六 | | |

## 五、埋火葬

昭和九年十二月末日調

| 埋葬 | 火葬 | 傳染病者 | 其他 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 九〇 | 一六 | 四八二 | | 四九八 |

## 六、種痘

昭和九年十二月末日調

| 第一期接種者 | | | | 第二期接種者 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 公 | 私 | 公 | 私 | 公 | 私 | 公 | 私 |
| 内訳 善感 | 内訳 不善感 | 内訳 不參者 | | 内訳 善感 | 内訳 不善感 | 内訳 不參者 | |
| 九五 | 一 | 二 | 三 | 九五 | 一 | 四 | 一 |

## 七、トラホーム檢診

昭和九年十二月末日調

| 男女別 | 現住人員 | 檢診人員 | 發見患者 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 重症 | 輕症 | 疑似症 | |
| 計 | 三、八〇〇 | 一、九五五 | 三 | 三五 | 三五 | 公 |
| 女 | 一、四〇五 | 二、〇〇二 | 四 | 六六 | 六六 | 私 |
| 男 | 二、三五 | 四、一五七 | 七 | 一〇一 | 一〇一 | 計 |

## 八、水道

昭和九年度調

| 布設認可月日 | 給水開始年月 | 基本給水區域 | 豫定給水人口 | 豫定給水量 | 極度給水量 | 工種並工期 | 工種 | 起工 | 竣工 | 工費 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 昭和二年八月十日 | 昭和四年九月十三日 | 桑名町一圓 | 三、〇〇〇 | 一人一日平均一リットル | 一日平均四、二五〇立方米 | 創設 第一回擴張 | 不詳 | 明治三十三年七月 昭和二年十月 | 明治三十七年六月 昭和四年九月 | 二八、四九〇円 | 諸戸家寄付ノ水道 |

| 水源並源水種類 | 慈水 | 喞筒 | 濾過池面積 | 配水池面積 | 配水方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 員辨川伏流水 | 五〇馬力電動機直結タービン喞筒 二臺 | | 立方米 一四三 | 立方米 一七三 | 自然流下 |

| 給水區域內 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 總戶數 | 人口 | 給水 | 總戶數 | 人口 | 同上比較百分率 | 給水區域內 | 水管延長 |
| 五、六四五 | 三、七三三 | 三、七三三 | 二、七三六 | 三、八四、九 | | 一 | 三、八、二四五米 |
| | | | | | | | 同上比較百分率 一 |

| 總栓數 | | 給水使用料 昭和九年度(見込) | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 戶數 | | 計量給水 | | 專用給水 | 共用給水 | 臨時收入 | 量水器 | |
| 戶數 | 調定額 | 戶數 | 調定額 | 戶數 | 調定額 | 件數 | 金額 | 戶數 | 調定額 |
| 三、七三三 | 五三、四六一、〇〇 | 一、三三一 | 三一〇六、〇〇 | 一、四五二 | 六、四四〇、〇〇 | 七五 | 一、四四七、〇〇 | 五九 | 二、三三一、〇〇 |

# 第十章 社會

## 一、保育育兒

昭和九年十二月三十一日現在

| 名稱 | 種別 | 創立位置 | 職員 | | | 雜費 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 男 | 女 | 計 | | |
| 桑名愛兒園 | 保育 | 大正十三年十二月一日 | 四 | 四 | 八 | 三、三四六円 | |
| 九華惠風園 | 育兒 | 明治三十七年五月二十一日 | 四 | 六 | 一〇 | 二、三〇〇 | |
| | | 桑名町大字外堀 | | | | | |
| | | 仝 新町 | | | | | |

## 二、恤救

昭和九年十二月三十一日現在

| 軍事救護 | 戶數 | 金額 | 戶數 | 金額 | 戶數 | 金額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 町 | 二 | 一三五円 | 四 | 三、一四一円 | 五 | 三、二〇〇円 |
| 計 | | | | | | |

## 三、無料治療券交付數

昭和九年十二月三十一日現在

| 種別 | 濟生會治療券 | 恩賜救療券 | 簡易診療所使用免除券 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 男 | | | | |
| 女 | | | | |
| 計 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 男 | | 一六 | | 一六 |
| 女 | | 一五 | 三 | 一八 |
| 計 | 一四八 | 一五 | 三 | 一七九 |

## 四、方面委員

| 區域數 | 委員數 |
|---|---|
| 十三 | 十三 |

## 五、職業紹介取扱狀況

昭和十年四月一日調

| 年度別 | 求人數 | | | 求職者數 | | | 紹介件數 | | | 就職數 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 開設 大正十三年 | 一六九 | 一三 | 一四二 | 二六五 | 一三 | 二七八 | 一四九 | 四五 | 一九四 | 一四五 | 一三 | 一四八 |
| 大正十四年 | 一九 | 一四 | 一五 | 三三 | 一四 | 三七 | 一九 | 一六 | 二五 | 一九 | 一四 | 二三 |
| 大正十五年 昭和元年 | 一三 | 四 | 一三 | 一四六 | 一六 | 一六二 | 八三 | 一五 | 一〇九 | 八三 | 一五 | 一〇〇 |
| 昭和二年 | 一六 | 三 | 一九 | 一六六 | 一六 | 一八二 | 一〇 | 一五 | 一二五 | 一〇 | 一四 | 一二四 |
| 昭和三年 | 一五 | 一三 | 一六八 | 一〇〇 | 一〇 | 一一〇 | 一九 | 一六 | 一三五 | 一九 | 一五 | 一三四 |
| 昭和四年 | 一六 | 一六 | 一三二 | 一三一 | 一九 | 一五〇 | 一三 | 一六 | 一九八 | 一三 | 一六 | 一九五 |
| 昭和五年 | 一四 | 一八 | 一四二 | 一九八 | 一六 | 二一四 | 一九 | 一八 | 二一八 | 一九 | 一八 | 二一五 |
| 昭和六年 | 一五 | 一四 | 一五三 | 一九一 | 一六 | 二〇七 | 一三 | 一四 | 一六七 | 一三 | 一四 | 一六一 |
| 昭和七年 | 一六 | 一四 | 一五六 | 一六六 | 一四 | 一八〇 | 一四 | 一四 | 一五四 | 一四 | 一四 | 一五二 |
| 昭和八年 | 一三八 | 一四 | 一五二 | 一四四 | 一四 | 一五八 | 一四 | 一四 | 一五四 | 一四 | 一四 | 一五二 |
| 昭和九年 | 一六一 | 一四 | 一七五 | 一四一 | 一四 | 一五五 | 一四 | 一四 | 一五五 | 一四 | 一四 | 一五五 |
| 累計 | 二、八四一 | 一、一五二 | 三、九七三 | 二、六六四 | 八六六 | 三、五三〇 | 一、六六一 | 六五二 | 二、二四三 | 一、〇〇六 | 四五二 | 一、四五八 |

| 區分 | 求人數 | | | 求職者數 | | | 紹介件數 | | | 就職數 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 工業及鑛業 | 三 | 四 | 七 | 三 | 六 | 九 | 三 | 六 | 九 | 三 | 六 | 九 |
| 土木建築 | 五 | 三 | 八 | 六 | 三 | 九 | 五 | 三 | 八 | 五 | 三 | 八 |
| 商業 | 三 | 一 | 四 | 三 | 一 | 四 | 三 | 一 | 四 | 三 | 一 | 四 |
| 通信運輸 | 二 | 一 | 三 | 二 | 一 | 三 | 二 | 一 | 三 | 二 | 一 | 三 |
| 戸内使用人 | 五 | 六 | 八 | 五 | 六 | 八 | 五 | 六 | 八 | 五 | 六 | 八 |
| 雜業 | 四 | 三 | 七 | 九 | 三 | 一二 | 四 | 三 | 七 | 三 | 三 | 六 |
| 合計 | 二六 | 一九 | 四五 | 二六 | 一九 | 四五 | 二六 | 一九 | 四五 | 二四 | 一六 | 四〇 |

ロ 求職者年齢調（昭和九年度中）

| 性別 / 年齢別 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 十八才以上 | 二六 | 一九 | 四五 | 二六 | 一九 | 四五 | 二六 | 一九 | 四五 | 二四 | 一六 | 四〇 |
| 十八才未満 | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 二六 | 一九 | 四五 | 二六 | 一九 | 四五 | 二六 | 一九 | 四五 | 二四 | 一六 | 四〇 |



ハ 求職者教育程度調（昭和九年度中）

| 性別 / 教育程度 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 中等學校卒業以上 | 二六 | 一九 | 四五 | 二六 | 一九 | 四五 |
| 其他 | | | | | | |
| 計 | 二六 | 一九 | 四五 | 二六 | 一九 | 四五 |

ニ 求職者本籍調（昭和九年度中）

| 性別 / 本籍 | 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|---|
| 北海道 | | | |
| 埼玉 | | | |
| 秋田 | | | |
| 大阪 | | | |
| 福井 | | | |
| 新潟 | 六 | 一 | 七 |
| 三重 | | | |
| 愛知 | | | |
| 靜岡 | | | |
| 佐賀 | | | |
| 滋賀 | 二 | 二 | 四 |
| 岐阜 | | | |
| 長野 | | | |
| 石川 | | | |
| 朝鮮 | | | |
| 合計 | 二 | 二 | 四 |

| 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|
| 一 | 一 | 一 |
| 一 | 一 | 一 |
| 一 | 一 | 一 |
| 一 | 一 | 一 |
| 一 | 一 | 一 |
| 三 | 一 | 三 |
| 三 | 一 | 三 |
| 一 | 一 | 一 |
| 一 | 一 | 一 |
| 三 | 一 | 三 |
| 五 | 一 | 四 |
| 一 | 一 | 一 |
| 一 | 一 | 一 |
| 三 | 一 | 三 |
| 四五 | 一四 | 二三 |

## 六ノ一、簡易診療所

昭和九年十二月末調

一、患者表

| 有料患者數 | | | 料金免除患者數 | | | 患者數計 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 九、五六 | 一〇、三九 | 二〇、二五 | 一五 | 六 | 二一 | 二〇、二五 | 一〇、三九 | 二〇、二五 |

二、新患者年齡別表

| 七才以下 | 八才以上 | 十四才以上 | 二十一才以上 | 五十一才以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一、一五 | 四八 | 三五 | 一、四五 | 六三 | 四、一三 |



内譯　男　一、九六〇人　女　三、一三〇人

## 六ノ二、簡易診療所出張所

昭和九年十二月末調

一、患者表

| 有料患者數 | | | 料金免除患者數 | | | 患者數計 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 八、一九六 | 六、六三 | 一四、八三 | 一 | 四八 | 四九 | 一四、九三 | | |

二、新患者年齡別表

| 七才以下 | 八才以上 | 十四才以上 | 二十一才以上 | 五十一才以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 八五二 | 四〇五 | 二六六 | 一、〇三一 | 五四 | 二、九三七 |

内譯　男　一、四九〇人　女　一、四四七人

## 一、篇志

昭和十年四月一日調

| 種別 | 有功章 | 特別正社員 | 現住人員百人ニ對スル歩合 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 赤十字社員 | 三一 | 四四 | 三四 | |
| 海員救濟會 | | 三九七 | 一、〇 | |
| 愛國婦人會 | | 三九八 | 三、〇 | |

## 二、各種團体

| 種別 | 人員 |
|---|---|
| 在郷軍人會 | 一、〇三八 |
| 青年團 | 三四六 |
| 女子青年團 | 三三七 |
| 農會 | 三四四 |
| 商工會 | 九三四 |
| 教育會 | 六六六 |
| 佛教會 | 正會員 五一 賛助會員 二六九 |

## 三、新聞雜誌

昭和十年五月一日調

| 名稱 | 位置 | 刊行別 |
|---|---|---|
| 北勢日日新聞 | 桑名町東船馬 | 日刊 |
| 伊勢新報社 | 仝堤原 | 仝 |
| 民衆時報社 | 仝大北町 | 仝 |
| 桑陽新報社 | 仝北寺町 | 旬刊 |
| 伊勢民友新聞社 | 仝外堀 | 仝 |
| 東海新報 | 桑名町小網町 | 旬刊 |
| 昭和時報社 | 仝京町 | 仝 |
| 興隆新聞 | 仝桑名 | 仝 |
| 新伊勢 | 仝外堀 | 仝 |

## 四、劇場

| 名稱 | 種別 | 位置 |
|---|---|---|
| 中座 | 演劇場 | 桑名町三之丸 |
| 三座 | 仝 | 仝 |
| 旭劇場 | 映畫常設 | 仝西鍋屋町 |
| 松竹館 | 仝 | 仝相生町 |
| | | 仝本町 |

# 五、里程表

| | 西桑名 | 城南 | 桑部 | 在良 | 深谷 | 野代 | 古濱 | 古美 | 多度 | 七取 | 楠 | 長島 | 木曾郵 | 伊曾島 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 桑名町 | 三里九丁一里〇〇 | 四、六七一、九九 | 四、六三一、〇八 | 四、三四一、〇八 | 四、七九一、二二 | 三、八〇二、九九 | 三、一〇三、〇八 | 一、六一四、一二 | 二、九八三、〇五 | 三、三二三、二一 | 四、一三二、一〇 | 四、一三二、一〇 | 四、九二一、二五 | 一、四九一、二五 |
| 西桑名 | 一、四九二一、二五 | 四、六七一、九九 | 四、八三一、二五 | 四、六七一、九九 | 四、一〇一、〇七 | 七、九七二、〇五 | 二、八六四、〇二 | 五、九二四、〇五 | 二、八三三、〇二 | 三、一〇三、〇六 | 八、七六二、〇五 | 四、一〇一、〇七 | 二、〇三二、〇五 | 一、二二一、〇五 |
| 城南 | | 八、〇九二、〇六 | 一、四三一、五 | 四、三三一、二二 | 九、一二二、三三 | 一、六七三、三三 | 一、六七四、二七 | 五、八二五、二二 | 六、六六四、二四 | 六、八九四、〇二 | 五、八四三、〇二 | 八、八八二、五六 | 八、五六一、〇六 | 四、四四一、〇六 |
| 桑部 | | | 一、九七二、五五 | 八、八四二、五五 | 三、六二五、二二 | 一、九六五、二二 | 四、四七五、六二 | 六、四四六、五五 | 六、四四四、〇〇 | 六、七五三、二六 | 三、三六三、二六 | 八、四六二、五五 | 二、〇六四、九五 | 五、〇六二、〇六 |
| 在良 | | | | 八、三二二、九九 | 三、三三五、二二 | 一、六一四、一〇 | 三、一〇五、二二 | 三、一〇五、二二 | 六、一〇四、一〇 | 三、三六三、二六 | 三、一六三、二六 | 八、四六二、五六 | 九、一五二、五五 | 三、三三二、二二 |
| 深谷 | | | | | 一、二六二、三三 | 五、一六一、四四 | 九、二九二、三四 | 九、二九四、二二 | 五、一四四、一三 | 九、九二四、二二 | 一、七二二、一八 | 五、〇三二、一八 | 三、二五二、五三 | 三、三二二、五二 |
| 野代 | | | | | | 四、〇一一、二〇 | 八、〇五二、二〇 | 一、六三二、一〇 | 四、一三二、一〇 | 四、一三二、一〇 | 三、九三二、一〇 | 三、九三二、一〇 | 三、九二二、二〇 | 三、九二二、二〇 |
| 古濱 | | | | | | | 四、〇五二、一〇 | 一、三〇二、五 | 八、一三二、一〇 | 七、九二二、一〇 | 三、三三二、一〇 | 三、三三二、一〇 | 一、六九二、四三 | 一、六九二、四三 |
| 古美 | | | | | | | | 四、六二一、八 | 一、七九二、一〇 | 一、〇一二、一〇 | 二、八八二、五五 | 一、六二二、五五 | 三、〇二二、五四 | 三、〇二二、五四 |
| 多度 | | | | | | | | | 一、七九二、一〇 | 一、〇一二、一〇 | 二、八八二、五五 | 一、六二二、五五 | 三、〇二二、五四 | 三、〇二二、五四 |
| 七取 | | | | | | | | | | 一、〇一二、一〇 | 二、〇八二、五五 | 一、六二二、五五 | 三、〇二二、五四 | 三、〇二二、五四 |
| 楠 | | | | | | | | | | | 二、〇八二、五五 | 三、三八二、二六 | 三、〇二二、五五 | 三、〇二二、五四 |
| 長島 | | | | | | | | | | | | 一、四五二、一五 | 一、四七二、一〇 | 一、四七二、一〇 |
| 木曾郵 | | | | | | | | | | | | | 二、九〇二、二〇 | 二、九〇二、二〇 |
| 伊曾島 | | | | | | | | | | | | | | 一、四三二、一〇 |

城南村ヨリ三重郡朝日村へ 一、九〇二、一三

桑部村ヨリ　企村へ 三、九二二、一〇〇

在良村ヨリ員辨郡久米村へ 四、一〇二、一〇

野代村ヨリ岐阜縣海津郡大江村へ 五、一二二、一〇

古濱村ヨリ員辨郡七和村へ 四、九七二、一二

古美村ヨリ員辨郡大桑原村へ 五、一二二、一〇

七取村ヨリ岐阜縣海津郡西江村へ 四、四八二、一〇

企　ヨリ　企　大江村へ 三、九二二、一〇〇

企　ヨリ　企　石津村へ 一、九二二、一〇

木曾郵村ヨリ愛知縣彌富町へ 四、八二二、一三

（明治卅三年三月廿日縣訓令甲第三四號）

昭和十年六月二十五日印刷
昭和十年七月一日發行

發行所　桑名町役場

印刷人　三重縣桑名郡桑名町大字桑名三百九十六番地
長瀨兵吉

印刷所　仝縣仝郡仝町大字桑名三百九十六番地
桑名商況社

桑名市立図書館
0120008107